

# 本 編



# はじめに

## (1) 調査の目的と位置づけ

「世界遺産を活用した『こころの空間・癒しの交流』づくりに関する調査」については、吉野大峯・熊野地域の来訪者の動態やニーズをより正確に把握するとともに、『癒し』を軸とした観光交流を通じた地域の活性化のあり方を検討することにより、「地域資源」「地域住民」「来訪者」が密接につながりあう地域づくりを図るために行われたものである。

この調査は以下の 3 つの調査から構成しており、本報告書の「来訪者流動調査システム開発に関する基礎調査」については、奈良県・三重県を対象に実施している。

[調査の背景と目的]

### 紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産登録

古代より神々の宿る特別な地域として崇められてきた吉野・熊野地域  
日本古来の神道・仏教が融合した文化的景観  
人口流出、高齢化、地域産業の不振などのほか、交通不便で危険な地域も多い  
世界遺産登録を機に、観光振興や地域の活性化が必要

### 癒しニーズの高まり

特にストレスの大きい都市部住民を中心とした、全国的な「癒し」に対するニーズの高まり  
真の『癒し』とは、「こころ」と「からだ」の両面が根本的な部分から満たされることによって得られる  
○神仏習合の進む熊野三山・修験道の中心地吉野・大峯  
霊験あらたかな聖地として「癒し」への期待大

「世界遺産を活用した『こころの空間・癒しの交流』づくりに関する調査」

### 来訪者流動システムに関する基礎調査（国土交通省近畿運輸局、奈良県、三重県）

来訪者流動システム開発研究（来訪者の観光志向及び行動実態の把握）

円滑な観光誘導に向けた調査研究（今後の観光振興や地域振興の施策展開に向けた基礎調査）

### 世界遺産を活用した健康増進観光のあり方に関する基礎調査

（国土交通省近畿運輸局、和歌山県）

癒しの観光振興方策の検討（本宮エリアにおける世界遺産と健康増進を結びつけた交流モデルの開発）

癒し効果の科学的検証（温泉浴、森林浴等のストレス抑制効果等の科学的検証）

地域ワークショップ（癒しの商品開発の可能性と具体例）

### 熊野古道の健康効果の検証研究調査（厚生労働省老健局、和歌山県）

熊野古道ウォーキングが及ぼす心身への健康効果の検証

[紀伊山地の霊場と参詣道の全体像]



## (2) 調査結果の概要と課題

本地域は世界遺産登録を契機として観光客の増加が期待されている地域であるが、地域全体としての来訪者数や地域内での観光行動の実態把握が現状では困難であった。このため、来訪者の観光志向や行動実態を的確に把握し、今後の観光振興や地域振興の施策展開に向けた基礎調査として本調査を実施した。

なお、本調査は、大きくは下記の2つの章から構成されている。

・ 来訪者流動調査システム開発研究

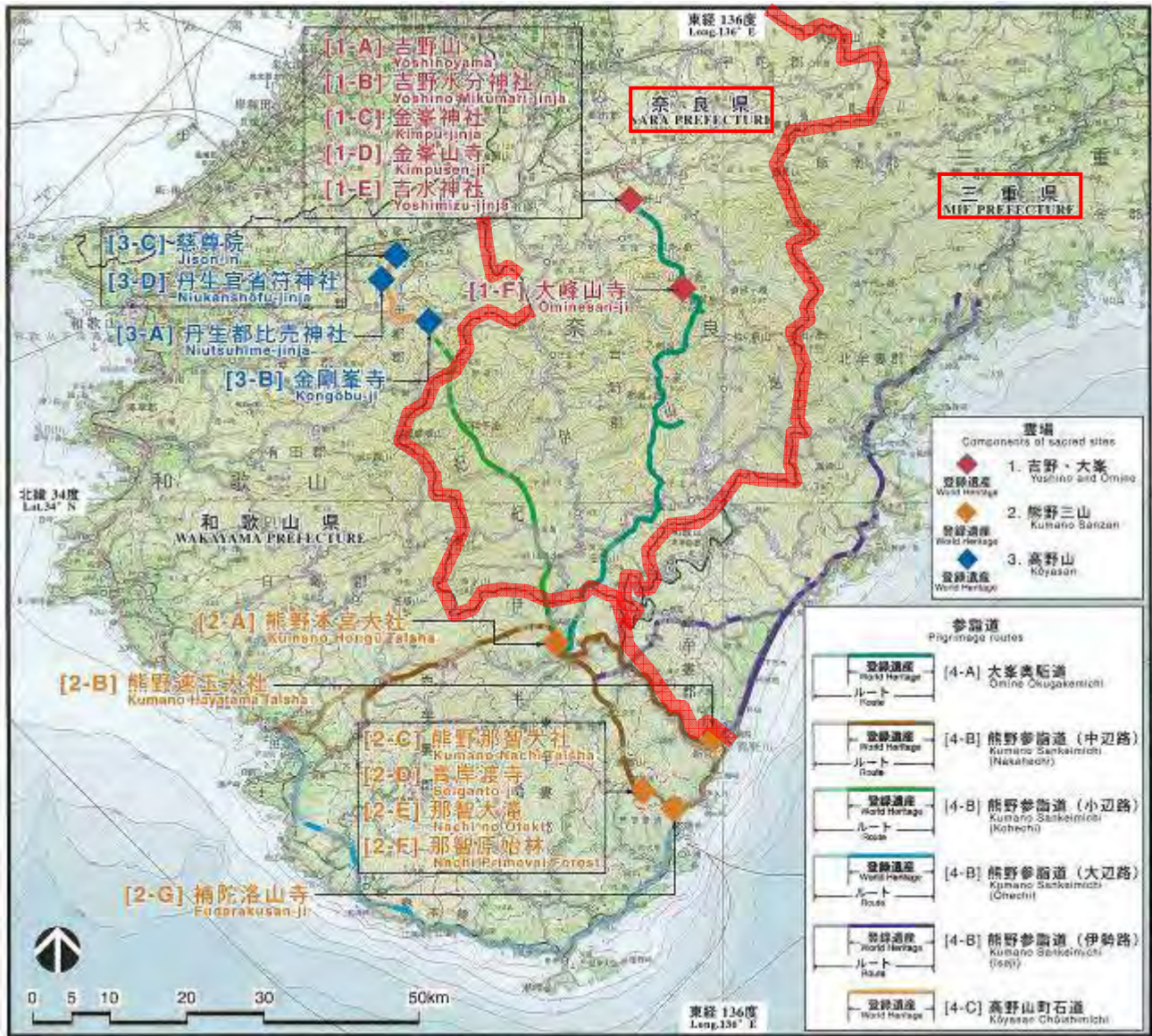
・ 円滑な観光誘導に向けた調査研究

その結果、本地域では、世界遺産登録をきっかけとした来訪者が増加し、来訪者の回遊パターンの変化も推測されるものの、一方で夏場の台風による甚大な被害等も影響したため、吉野山や熊野古道伊勢路を除き、特に奈良県側を中心に地域全体としての入込客数の大きな増加は見られなかったこと、その上で、広域的な施策展開への活用のためには、広域エリア全体での入込客実数の把握が必要であることを明らかにした。

また、本地域には非常に多様な目的と志向を持った来訪者が訪れていることから、来訪者を類型化して行動パターンを明らかにした上で、画一的な対応ではなく、多様なそれぞれの来訪者を意識した効果的なもてなしや情報提供が必要であることを提案している。

本調査では、観光の現状把握と課題の明確化とともに、検討過程を通じて、来訪者の動向と、ニーズ把握の手法についても提案している。今後は、関係者の連携のもと、本調査の結果や提案された手法を活用した観光誘導施策の、継続した展開が望まれる。

[世界遺産地域と調査対象地域(奈良県・三重県)]





# 来訪者流動システム開発研究

## 【調査の目的等】

観光入込客数、来訪者流動状況など、観光に関する指標については、その算定や推計方法に現在は定型的な手法はなく、各都道府県、市町村の任意の方法に委ねられているのが実情である。本地域においても世界遺産への登録を機に、来訪者数の大きな増加が伺えるものの、その観光行動や流動の実態の把握、推計は難しい状況にある。

このため、本項においては、奈良県及び三重県地域における来訪者の実態的な入込客数及び流動状況を調査し、その特性分析、課題抽出を行うことにより、本世界遺産地域の観光振興施策の推進につなげていくとともに、他地域においても応用可能な観光入込客数、来訪者流動数の新たな推計方法を開発研究し、提案していくものである。

## 1. 実態調査の実施

世界遺産登録後の地域の来訪者流動を把握するため、下記の要領で実態調査を実施した。

この調査において計測した乗降者数、通行車両数、歩行者数等の集計、回収されたアンケート調査等を集計し、調査日における本地域の流動状況の実態を明らかにする。

< 調査日 > 11月14日(日) 17日(水) 21日(日)の3日間

補足的に一部の調査地点では23日(祝)にも実施

各調査日ともに調査地点の天候は概ね晴天であった。

< 調査時間 > 朝7時から夕方7時までの12時間

参詣道(峠道)調査においては朝8時から夕方6時までの10時間調査

< 調査内容 >

場所 \ 種別	14日 (日)	17日 (水)	21日 (日)	鉄道・バス 乗降人員調査	道路交通量 調査	参詣道(峠道) 歩行者通行 量調査	アンケート 調査
(1)玄関口							
(2)道の駅							
(3)観光地							
(4)参詣道(峠道)							

< 調査方法の概要 >

鉄道・バス 乗降人員調査	鉄道は主要駅にて改札口を入出場した人数を計測 バスは主要ターミナル及び観光地バス停にて指定便の乗降人数を計測
道路交通量 調査	幹線道路の主要地点において車両通行量を方向別に計測 乗用車、バス、回送バス、貨物車、自動二輪車に区分して計測
参詣道(峠道) 歩行者通行量 調査	世界遺産熊野参詣道小辺路、熊野古道伊勢路の主要峠の入口付近にて歩行者 通行量を方向別に計測
アンケート 調査	調査地点付近を通行する「観光客」に調査員が直接手渡して配布 回収は後日返信用封筒にて郵送回収 配布時には簡単なヒアリングも実施

< 調査実施地点 >

〔道路交通量調査〕

：アンケート調査配布

	調査地点	県	市町村	11/14 (日)	11/17 (水)	11/21 (日)	調査 区分
国道166号	東吉野村鷺家	奈良県	東吉野村				玄関口
国道370号	吉野見附「三茶屋」		吉野町				
国道168号	道の駅「吉野路大塔」		大塔村				道の駅
	十津川村上野地・谷瀬		十津川村				観光地
	道の駅「十津川郷」						道の駅
	十津川温泉バス停						観光地
	十津川路七色観光案内所						玄関口
国道169号	道の駅「吉野路大淀センター」		大淀町				
	山幸彦もくもく館		川上村				
	道の駅「杉の湯川上」						道の駅
	道の駅「吉野路上北山」		上北山村				玄関口
下北山村上池原	下北山村						
国道309号	道の駅「吉野路黒滝」		黒滝村				道の駅
	天川村川合総合案内所		天川村				観光地
県道	吉野山駐車場	吉野町					
県道	大台ヶ原駐車場	上北山村					
国道42号	道の駅「紀伊長島マンボウ」	三重県	紀伊長島町				道の駅
	道の駅「海山」		海山町				

〔鉄道・バス乗降人員調査〕

：アンケート調査配布

	調査地点	県	市町村	11/14 (日)	11/17 (水)	11/21 (日)	調査 区分
鉄道駅	近鉄下市口駅	奈良県	大淀町				玄関口
	近鉄大和上市駅		吉野町				
	近鉄吉野駅						観光地
	ケーブル吉野千本口駅						
	JR五条駅	三重県	五條市				玄関口
	JR紀伊長島駅		紀伊長島町				
	JR尾鷲駅		尾鷲市				
	JR熊野市駅		熊野市				
バス停	下市口駅(洞川方面)	奈良県	大淀町				
	大和上市駅(大台ヶ原方面)		吉野町				
	五条駅(十津川方面)		五條市				
	五条バスセンター(十津川方面)						
	洞川温泉(下市口駅方面)		天川村				観光地
	大台ヶ原(大和上市駅方面)		上北山村				
	十津川温泉(五条新宮方面)		十津川村				

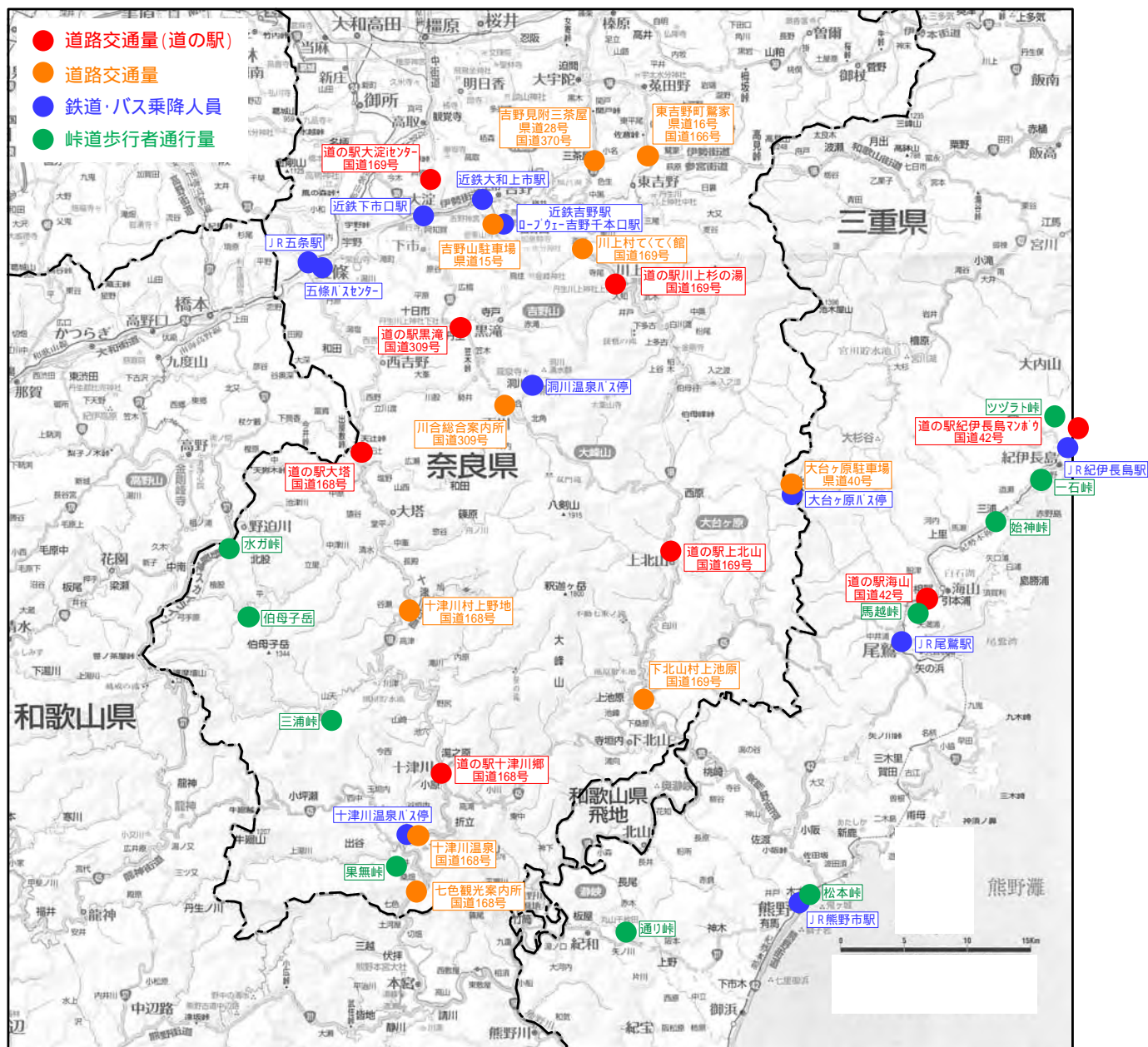
〔参詣道(峠道)歩行者通行量調査〕

：アンケート調査配布

	調査地点	県	市町村	11/14 (日)	11/17 (水)	11/21 (日)	調査 区分	
熊野参詣道 小辺路	水ガ峰	奈良県	野迫川村				峠道	
	伯母子岳							
	三浦峠		十津川村					
	果無峠							
熊野古道 伊勢路	ツツラト峠	三重県	紀伊長島町					
	一石峠							
	始神峠							
	馬越峠		海山町					
	松本峠			熊野市				
	通り峠			紀和町				



< 調査実施地点位置図 >



< アンケート調査の配布回収状況 >

	配布数	回収数
大淀地区	819	85
吉野山地区	2,274	529
黒滝・天川・洞川地区	1,460	327
川上・上北山・下北山地区	690	106
大台ヶ原地区	191	71

	配布数	回収数
大塔・十津川地区	2,307	363
熊野参詣道小辺路	72	33
三重県下・伊勢路	1,818	300
配布地不明	-	140
合計	9,681	1,954 20.2%

## <アンケート調査票>

### 吉野大峯・熊野地域 世界遺産への来訪者流動調査 調査票

この調査は、吉野大峯・熊野地域を訪れた観光客の方を対象に実施しています。  
ご回答は、四角の枠線の中に記入してください。ご協力をお願いいたします。

※「吉野大峯・熊野地域」とは、おおむね、裏面に添付しております地図に表されている地域のことで、

【質問1】あなたのお住まいはどこですか。  
都道府県と市区町村をご記入ください。

	都・道 府・県
	市・区 町・村

【質問2】あなたの年齢と性別をお聞かせください。

	歳代
	男・女

【質問3】今回は何人のグループでのご旅行ですか。  
(ツアー旅行等に参加している方は、あなたのグループの人数のみをお書きください。)

	人
--	---

【質問4】今回はどのようなグループでのご旅行ですか。最も近いものを1つだけ選び  
番号に○を付けてください。

1. 家族・親せき
2. 趣味の仲間やサークル
3. 職場や学校のグループ
4. 地域の仲間や団体
5. おひとりの旅行
6. その他(具体的にお書きください)

【質問5】今回の旅行期間はどの程度ですか。  
日帰り又は○泊かをお書きください。

日帰り	又は	泊
-----	----	---

【質問6】吉野大峯・熊野地域へのご旅行は何回目ですか。今回も含めた回数をお書きください。

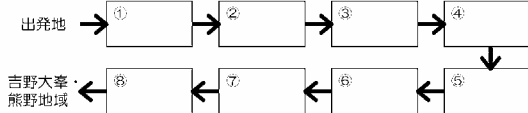
今回も含めて	回目
--------	----

1

【質問7】今回のご旅行に際して、吉野大峯・熊野地域の情報はどこから得られましたか。  
あてはまるものすべての番号に○を付けてください。

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1. 新聞の記事や広告         | 2. 雑誌の記事や広告   |
| 3. ハンフレットやチラシ       | 4. ポスター       |
| 5. テレビやラジオの番組       | 6. インターネット    |
| 7. 旅行会社の広告・案内       | 8. 友人や知人からの情報 |
| 9. その他(具体的にお書きください) |               |

【質問8】出発地から吉野大峯・熊野地域までに利用した交通手段は何ですか。  
利用した順番に、選択肢から選び、番号をお書きください。



【選択肢】 ※利用した順番に番号を書いてください

- |                            |         |                |
|----------------------------|---------|----------------|
| 1. 新幹線                     | 2. 飛行機  | 3. JR線(新幹線を除く) |
| 4. 近鉄線                     | 5. 南海線  | 6. その他の私鉄線     |
| 7. 高速バス                    | 8. 路線バス | 9. 観光バス        |
| 10. 自家用車                   | 11. 二輪車 | 12. レンタカー      |
| 13. その他(具体的に上の枠の中にお書きください) |         |                |

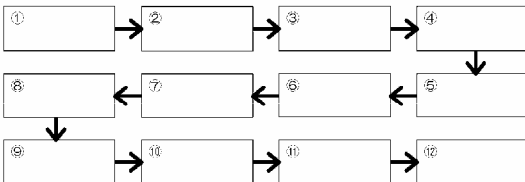
【質問9】吉野大峯・熊野地域の中で利用した交通手段は何ですか。  
利用したものすべての番号に○を付けてください。

- |                     |         |         |          |
|---------------------|---------|---------|----------|
| 1. JR線              | 2. 近鉄線  | 3. 路線バス | 4. 観光バス  |
| 5. タクシー             | 6. 自家用車 | 7. 二輪車  | 8. レンタカー |
| 9. その他(具体的にお書きください) |         |         |          |

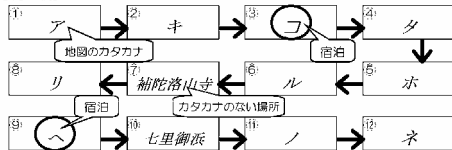
2

【質問10】今回の旅行で、吉野大峯・熊野地域の中でどこを訪れましたか。

右の地図を参考にしながら、訪れた場所または施設の地図中のカタカナ、  
あるいは名称を順番にお書きください。(地図にない名称を書いても結構です。)  
また、宿泊した場所には文字に○を付けてください。



【書き方の例】



【質問11】この調査票はいつどこで受け取りましたか。月日と場所をお書きください。

受取った月日	受取った場所
月 日	

【質問12】その他、今回の旅行の感想、観光や地域に対する意見・要望等がありましたら  
ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

3

### <参考地図 吉野大峯・熊野地域の全体図>



質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。  
この用紙を返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。  
吉野大峯・熊野地域へのまたのお越しをお待ちしています。

4

## 2. 実態調査の結果の整理

時間別データ等の詳細結果は資料編参照

### (1) 道路交通量調査

< 調査結果表 > (数値は7時から19時の12時間交通量を表記している)

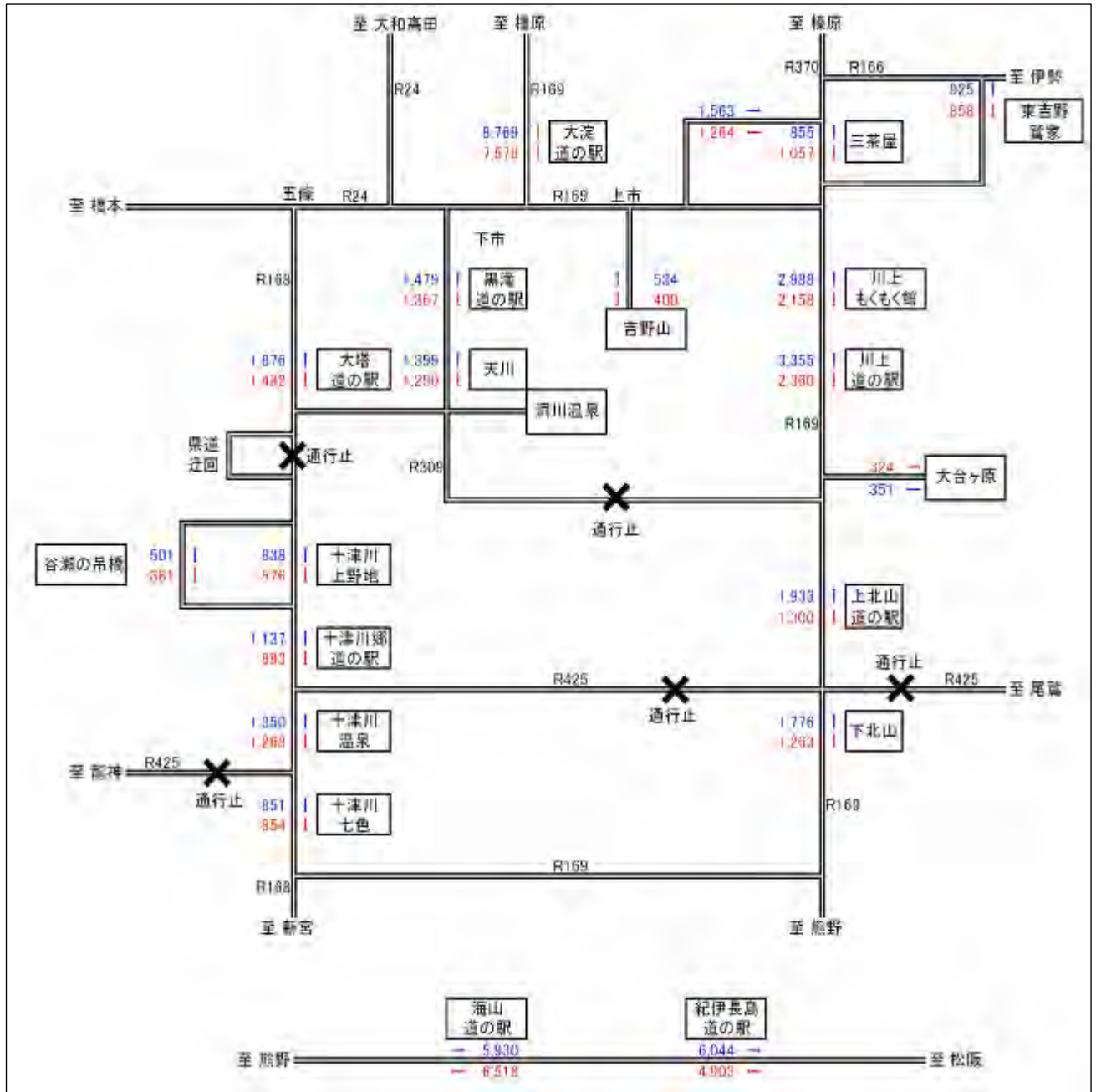
地点	方向	車種	11/14(日)	11/17(水)	11/21(日)
国道166号 県道16号 東吉野町鷲家	菟田野方面 R166	合計	1,705		
		乗用車	1,349		
		バス	25		
		回送バス	6		
		貨物車 二輪車	265 60		
	三重県方面 R166	合計	1,399		
		乗用車	1,096		
		バス	14		
		回送バス	10		
		貨物車 二輪車	231 48		
	R166方面 県道16号	合計		880	925
		乗用車		530	631
		バス		20	12
		回送バス		2	1
		貨物車 二輪車		307 21	206 75
	吉野方面 県道16号	合計		848	858
乗用車			490	601	
バス			19	13	
回送バス			1	1	
貨物車 二輪車			315 23	182 61	
国道370号 県道28号 吉野町 吉野見附三茶屋	大宇陀方面 R370	合計	757	589	855
		乗用車	574	355	629
		バス	6	5	4
		回送バス	0	9	1
		貨物車 二輪車	137 40	207 13	140 81
	川上方面 R370	合計	953	664	1,057
		乗用車	749	426	753
		バス	4	10	6
		回送バス	1	7	0
		貨物車 二輪車	154 45	209 12	160 138
	大宇陀方面 県道28号	合計		1,433	1,563
		乗用車		759	1,120
		バス		25	18
		回送バス		9	4
		貨物車 二輪車		616 24	359 62
	吉野方面 県道28号	合計		1,404	1,264
乗用車			724	919	
バス			20	20	
回送バス			7	1	
貨物車 二輪車			626 27	274 50	
国道168号 大塔村 道の駅大塔	五條方面	合計	1,564		1,876
		乗用車	1,308		1,602
		バス	23		20
		回送バス	4		1
		貨物車 二輪車	102 127		118 135
	新宮方面	合計	1,296		1,482
		乗用車	1,097		1,206
		バス	24		24
		回送バス	2		0
		貨物車 二輪車	96 77		104 148

地点	方向	車種	11/14(日)	11/17(水)	11/21(日)	11/23(祝)
国道168号 十津川村 上野地 (谷瀬吊橋付近)	五條方面 R169	合計	1,044		838	798
		乗用車	883		692	567
		バス	19		7	0
		回送バス	3		0	0
		貨物車 二輪車	48 91		89 50	157 74
	新宮方面 R169	合計	760		576	598
		乗用車	634		468	391
		バス	14		0	1
		回送バス	4		0	0
		貨物車 二輪車	51 57		57 51	124 82
	R169方面 旧道	合計			501	465
		乗用車			421	345
		バス			14	14
		回送バス			0	0
		貨物車 二輪車			31 35	54 52
	吊橋方面 旧道	合計			381	382
乗用車				328	274	
バス				0	11	
回送バス				0	0	
貨物車 二輪車				21 32	46 51	
国道168号 十津川村 道の駅十津川郷	五條方面	合計	1,015		1,137	
		乗用車	764		853	
		バス	33		25	
		回送バス	1		0	
		貨物車 二輪車	126 91		178 81	
	新宮方面	合計	748		993	
		乗用車	562		725	
		バス	29		26	
		回送バス	0		0	
		貨物車 二輪車	116 41		163 79	
国道168号 十津川村 十津川温泉 バス停付近	五條方面	合計	1,214		1,350	
		乗用車	854		964	
		バス	36		27	
		回送バス	0		0	
		貨物車 二輪車	219 105		268 91	
	新宮方面	合計	1,043		1,268	
		乗用車	713		889	
		バス	30		29	
		回送バス	1		0	
		貨物車 二輪車	234 65		275 75	
国道168号 十津川村 七色観光案内所	五條方面	合計	645	515	851	
		乗用車	499	330	672	
		バス	19	6	6	
		回送バス	6	2	9	
		貨物車 二輪車	71 50	168 9	108 56	
	新宮方面	合計	582	534	854	
		乗用車	464	322	658	
		バス	15	12	12	
		回送バス	8	6	6	
		貨物車 二輪車	73 22	183 11	118 60	
国道169号 道の駅 大淀iセンター	檀原方面	合計	8,775	9,070	8,769	
		乗用車	7,723	6,578	7,740	
		バス	53	86	63	
		回送バス	12	13	0	
		貨物車 二輪車	860 127	2,265 128	801 165	
	吉野方面	合計	7,475	8,707	7,578	
		乗用車	6,561	6,211	6,656	
		バス	53	72	66	
		回送バス	5	23	0	
		貨物車 二輪車	766 90	2,269 132	712 144	

地点	方向	車種	11/14(日)	11/17(水)	11/21(日)	11/23(祝)
国道169号 川上村 山幸彦もくもく館	吉野方面	合計	3,169	2,026	2,988	
		乗用車	2,619	1,380	2,387	
		バス	28	17	29	
		回送バス	3	0	2	
		貨物車 二輪車	395 124	581 48	404 166	
	熊野方面	合計	2,170	1,786	2,158	
		乗用車	1,800	1,176	1,730	
		バス	20	12	23	
		回送バス	6	0	6	
		貨物車 二輪車	259 85	544 54	277 122	
国道169号 川上村 道の駅杉の湯川上	吉野方面	合計	3,443		3,355	
		乗用車	2,752		2,592	
		バス	35		40	
		回送バス	10		5	
		貨物車 二輪車	483 163		412 306	
	熊野方面	合計	2,401		2,360	
		乗用車	1,896		1,824	
		バス	25		30	
		回送バス	12		6	
		貨物車 二輪車	354 114		315 185	
国道169号 上北山村 道の駅上北山	吉野方面	合計	1,442		1,933	1,684
		乗用車	1,251		1,526	1,373
		バス	12		9	8
		回送バス	2		5	1
		貨物車 二輪車	101 76		260 133	196 106
	熊野方面	合計	882		1,300	1,147
		乗用車	640		930	867
		バス	32		12	8
		回送バス	0		4	1
		貨物車 二輪車	140 70		232 122	168 103
国道169号 下北山村 上池原	吉野方面	合計	1,510	1,054	1,776	
		乗用車	1,284	653	1,402	
		バス	9	7	8	
		回送バス	2	4	4	
		貨物車 二輪車	152 63	365 25	265 97	
	熊野方面	合計	884	849	1,263	
		乗用車	670	446	917	
		バス	5	5	6	
		回送バス	0	2	3	
		貨物車 二輪車	142 67	375 21	229 108	
国道309号 黒滝村 道の駅黒滝	下市方面	合計	1,511		1,479	
		乗用車	1,291		1,159	
		バス	33		26	
		回送バス	0		0	
		貨物車 二輪車	146 41		189 105	
	天川方面	合計	1,297		1,367	
		乗用車	1,080		1,060	
		バス	39		27	
		回送バス	1		0	
		貨物車 二輪車	140 37		189 91	
国道309号 天川村 川合総合案内所	下市方面	合計	1,456		1,399	
		乗用車	1,237		1,140	
		バス	30		25	
		回送バス	7		0	
		貨物車 二輪車	154 28		133 101	
	洞川方面	合計	1,317		1,290	
		乗用車	1,095		1,037	
		バス	33		16	
		回送バス	4		5	
		貨物車 二輪車	152 33		156 76	

地点	方向	車種	11/14(日)	11/17(水)	11/21(日)	11/23(祝)
県道17号 吉野町 吉野山駐車場	R169方面 事務所横	合計	518		534	
		乗用車	430		438	
		バス	0		1	
		回送バス	0		2	
		貨物車 二輪車	57 31		63 30	
	吉野山方面 事務所横	合計	430		400	
		乗用車	355		315	
		バス	2		4	
		回送バス	1		2	
		貨物車 二輪車	46 26		54 25	
	R169方面 駐車場奥	合計				694
		乗用車				530
		バス				4
		回送バス				6
		貨物車 二輪車				92 62
歩行者					1,925	
吉野山方面 駐車場奥	合計				562	
	乗用車				425	
	バス				6	
	回送バス				1	
	貨物車 二輪車				95 35	
	歩行者				1,806	
県道40号 上北山村 大台ヶ原駐車場	R169方面 出庫	合計	279		351	
		乗用車	248		304	
		バス	8		4	
		回送バス	0		0	
		貨物車 二輪車	2 21		4 39	
	駐車場方面 入庫	合計	256		324	
		乗用車	224		277	
		バス	8		3	
		回送バス	1		0	
		貨物車 二輪車	2 21		5 39	
国道42号 紀伊長島町 道の駅マンボウ	松阪方面	合計	5,956		6,044	
		乗用車	5,195		5,280	
		バス	114		90	
		回送バス	0		1	
		貨物車 二輪車	515 132		507 166	
	熊野方面	合計	4,623		4,903	
		乗用車	4,005		4,202	
		バス	107		93	
		回送バス	0		0	
		貨物車 二輪車	413 98		433 175	
国道42号 海山町 道の駅海山	松阪方面	合計	5,757		5,930	
		乗用車	5,346		5,543	
		バス	102		67	
		回送バス	10		8	
		貨物車 二輪車	201 98		204 108	
	熊野方面	合計	5,769		6,518	
		乗用車	5,403		6,067	
		バス	104		98	
		回送バス	13		21	
		貨物車 二輪車	181 68		203 129	

< 11月21日(日)の道路交通量の状況図 > 二輪車も含む 一部推計値も含む





(2) 鉄道・バス乗降人員調査

< 調査結果表 > (数値は7時から19時の12時間乗降人員を表記している)

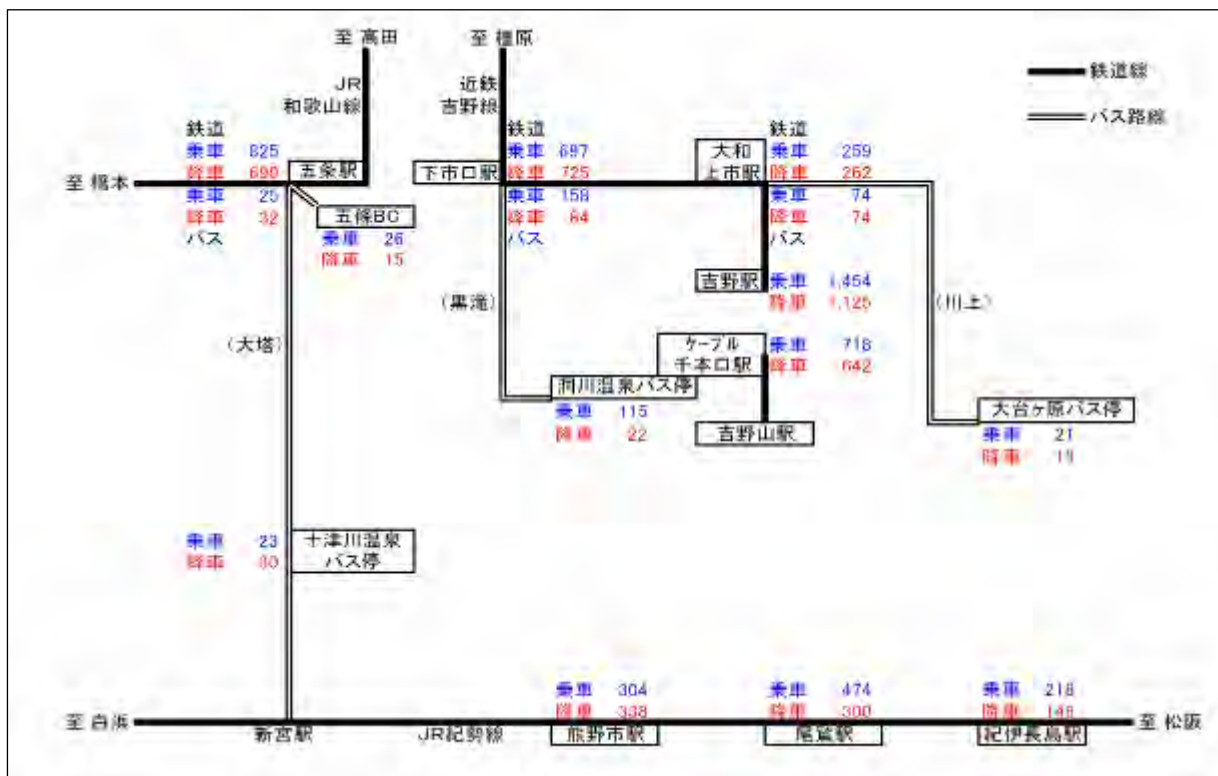
< 鉄 道 >

		11/14(日)	11/17(水)	11/21(日)
近鉄吉野線下市口駅	乗車	774	1,209	697
	降車	797	1,343	725
近鉄吉野線大和上市駅	乗車	376	491	259
	降車	308	483	262
近鉄吉野線吉野駅	乗車	1,108		1,454
	降車	836		1,125
ケーブル吉野千本口駅	乗車	563		718
	降車	498		642
JR和歌山線五条駅	乗車	838	2,105	825
	降車	655	1,976	699
JR紀勢線紀伊長島駅	乗車	162	249	218
	降車	151	224	147
JR紀勢線尾鷲駅	乗車	446	647	474
	降車	371	650	300
JR紀勢線熊野市駅	乗車	308	456	304
	降車	320	506	338

< バ ス >

		11/14(日)	11/17(水)	11/21(日)
近鉄下市口駅バス停 黒滝・洞川方面行	乗車	69	102	158
	降車	109	99	84
近鉄大和上市駅バス停 川上・大台ヶ原方面行	乗車	37	56	74
	降車	76	45	74
JR五条駅バス停 大塔・十津川方面行	乗車	28	75	25
	降車	47	75	32
五條バスセンター 大塔・十津川方面行	乗車	27	50	26
	降車	14	38	15
洞川温泉バス停 下市口方面行	乗車	184		115
	降車	19		22
大台ヶ原バス停 川上・大和上市方面行	乗車	26		21
	降車	12		19
十津川温泉バス停 五條方面行・新宮方面行	乗車	22		23
	降車	16		30

< 11月21日(日)の鉄道バス乗降客数の状況図 >

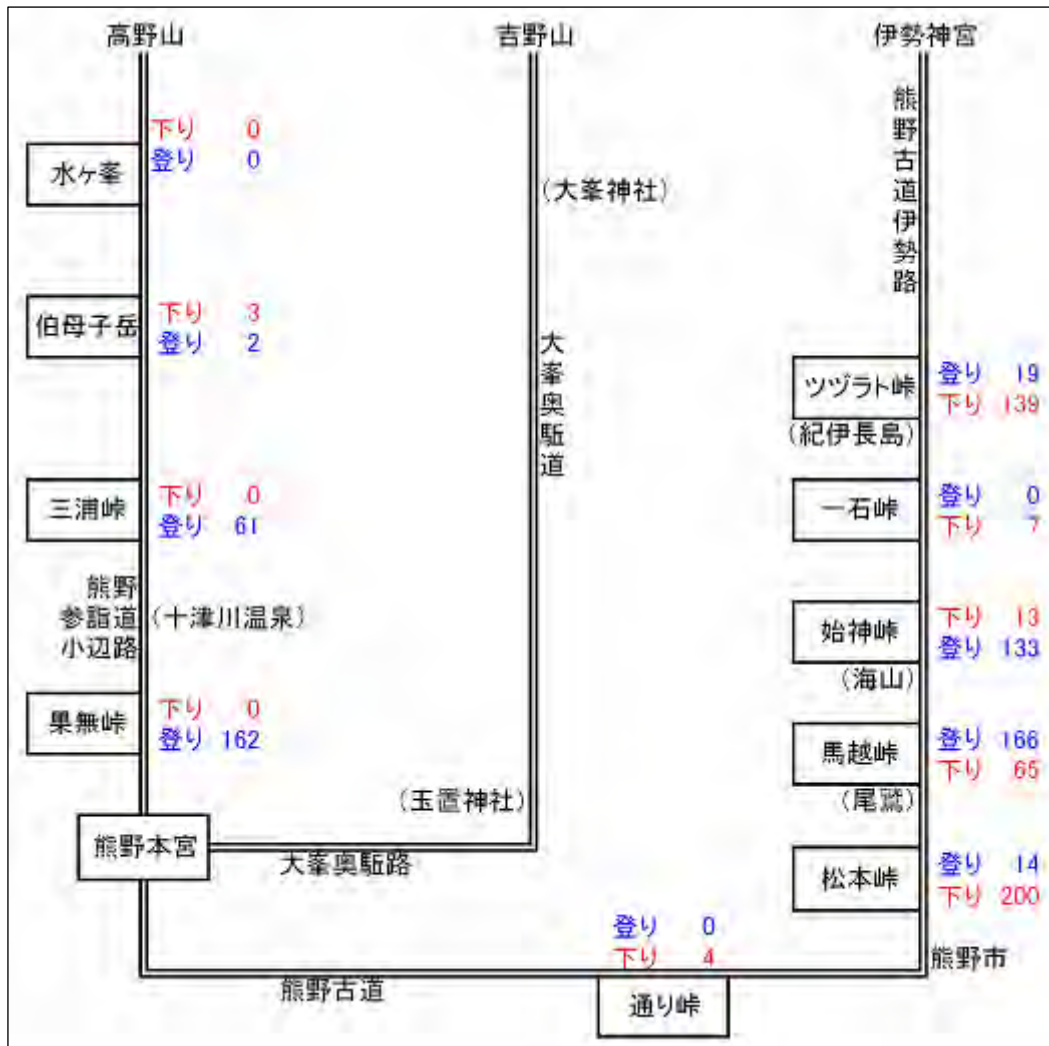


(3) 参詣道(峠道)歩行者通行量調査

< 調査結果表 > (数値は8時から18時の10時間歩行者数を表記している)

			11/14(日)
奈良県 熊野参詣道 小辺路	水ヶ峰	登り	0
	スカイライン口	下り	0
	伯母子岳	登り	2
	大股橋口	下り	3
	三浦峠	登り	61
	三浦口	下り	0
	果無峠	登り	162
三重県 熊野古道 伊勢路	果無集落口	下り	0
	ツヅラト峠	登り	19
	志子口	下り	139
	一石峠	登り	0
	平方峠林道口	下り	7
	始神峠	登り	133
	紀伊長島三浦口	下り	13
	馬越峠	登り	461
	海山鷲毛口	下り	65
	松本峠	登り	14
	熊野市木本口	下り	200
通り峠	登り	0	
千枚田バス停口	下り	4	

< 11月14日(日)の参詣道(峠道)歩行者数の状況 >



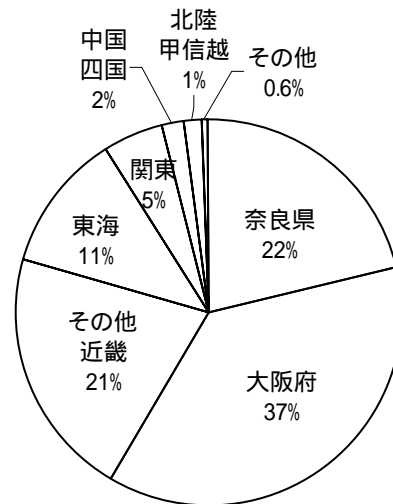
(4) アンケート調査

観光地別等の詳細集計分析結果については参考資料

回答者の居住地

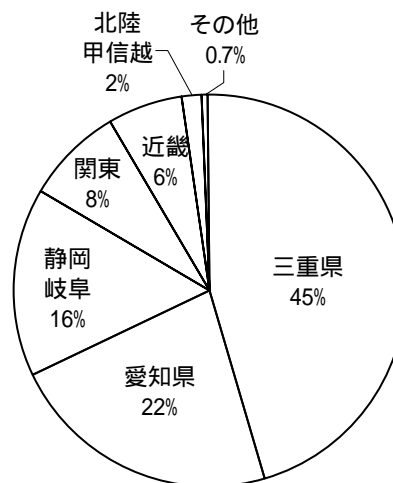
居住地	奈良県配布分	
	人数	割合
大阪府	566	37.0%
奈良県	329	21.5%
兵庫県	107	7.0%
和歌山県	106	6.9%
京都府	87	5.7%
愛知県	72	4.7%
三重県	71	4.6%
東京都	25	1.6%
静岡県	24	1.6%
滋賀県	22	1.4%
神奈川県	19	1.2%
埼玉県	14	0.9%
千葉県	11	0.7%
その他	78	5.1%
岐阜県9 岡山県9 石川県9 広島県7 香川県5 新潟県5 群馬県4 徳島県3 愛媛県3 山口県3 長崎県3 茨城県3 他		
回答者計	1,531	100.0%

奈良県下については、大阪府、奈良県をはじめとして、近畿地方が80%を占めており、東海地方は11%、関東地方は5%となっている。



居住地	三重県配布分	
	人数	割合
三重県	136	45.3%
愛知県	67	22.3%
静岡県	35	11.7%
岐阜県	12	4.0%
神奈川県	11	3.7%
大阪府	7	2.3%
奈良県	6	2.0%
東京都	4	1.3%
千葉県	4	1.3%
和歌山県	3	1.0%
富山県	2	0.7%
長野県	2	0.7%
埼玉県	2	0.7%
群馬県	2	0.7%
その他	7	2.3%
回答者計	300	100.0%

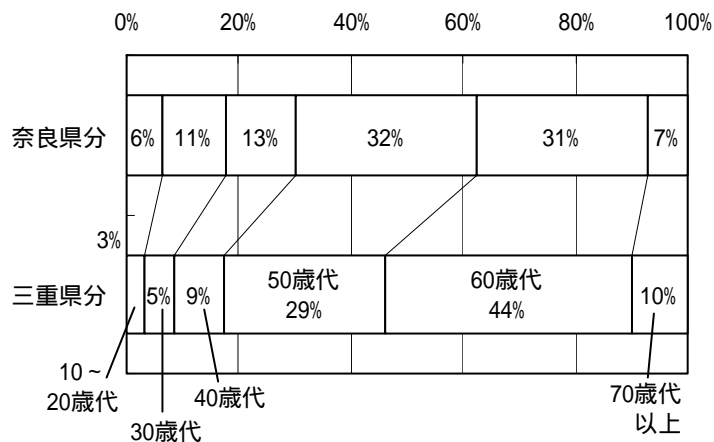
三重県下については、県内が45%と多く、愛知県、静岡県、岐阜県も含めた東海地方で83%を占めている。関東地方は8%、近畿地方は6%となっている。



### 回答者の年齢

奈良県下、三重県下ともに50歳代、60歳代が中心となっているが、三重県下の方が中高年齢層の割合がより高くなっている。

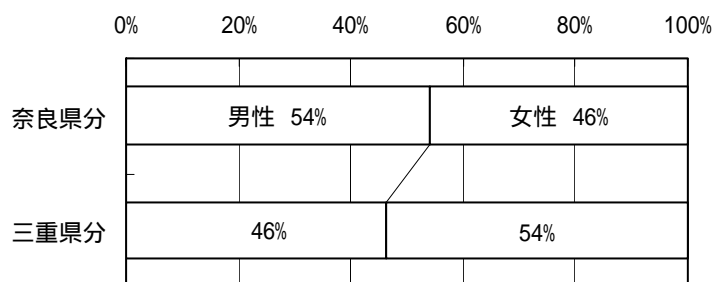
年齢	奈良県配布分		三重県配布分	
	人数	割合	人数	割合
10歳代	6	0.4%	0	0.0%
20歳代	90	5.9%	10	3.3%
30歳代	173	11.3%	15	5.0%
40歳代	192	12.6%	27	9.0%
50歳代	490	32.1%	86	28.8%
60歳代	467	30.6%	131	43.8%
70歳代	101	6.6%	28	9.4%
80歳代	6	0.4%	2	0.7%
回答者計	1,525	100.0%	299	100.0%



### 回答者の性別

奈良県下では男性がやや多いのに対し、三重県下では女性がやや多くなっている。

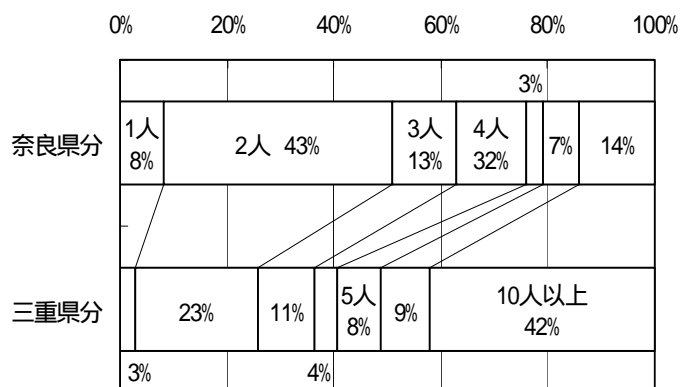
性別	奈良県配布分		三重県配布分	
	人数	割合	人数	割合
男	821	54.1%	138	46.5%
女	696	45.9%	159	53.5%
回答者計	1,517	100.0%	297	100.0%



### 旅行グループの人数

奈良県下では2人が最も多く少人数が中心となっているが、三重県が多人数のグループが多くなっている。

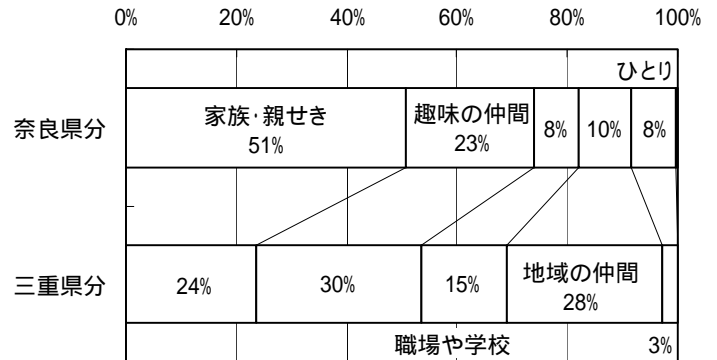
グループの人数	奈良県配布分		三重県配布分	
	人数	割合	人数	割合
1人	125	8.2%	8	2.7%
2人	647	42.5%	69	23.1%
3人	186	12.2%	32	10.7%
4人	197	12.9%	13	4.3%
5人	51	3.4%	24	8.0%
6~9人	100	6.6%	27	9.0%
10~19人	75	4.9%	22	7.4%
20~29人	49	3.2%	32	10.7%
30~39人	38	2.5%	16	5.4%
40~49人	23	1.5%	13	4.3%
50人以上	31	2.0%	43	14.4%
回答者計	1,522	100.0%	299	100.0%



### 旅行グループの種類

奈良県下では家族・親せきのグループが過半数となっているのに対し、三重県下では趣味の仲間・地域の仲間が多くなっている。

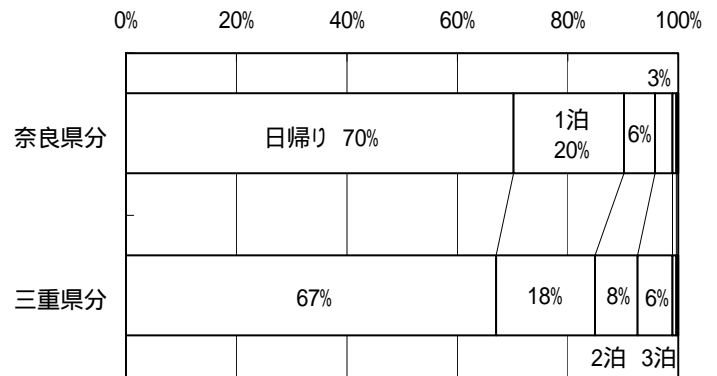
旅行グループの種類	奈良県配布分		三重県配布分	
	人数	割合	人数	割合
家族・親せき	769	50.6%	71	23.7%
趣味の仲間	355	23.3%	89	29.8%
職場や学校	125	8.2%	46	15.4%
地域の仲間	144	9.5%	85	28.4%
ひとりの旅行	124	8.2%	8	2.7%
その他	4	0.3%	0	0.0%
回答者計	1,521	100.0%	299	100.0%



### 旅行期間

奈良県下・三重県下ともに日帰りが中心となっているが、奈良県下の方が短期滞在の割合が若干高くなっている。

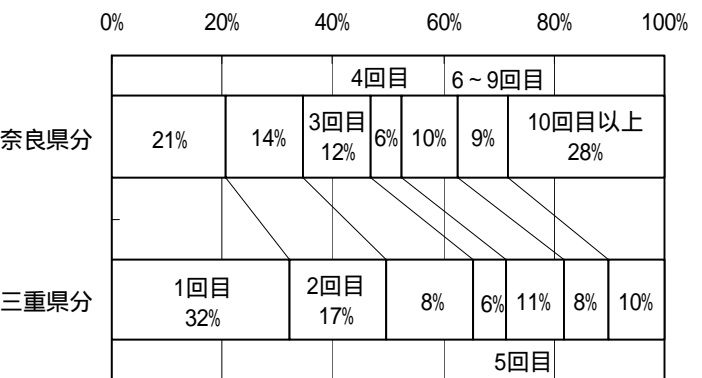
宿泊数	奈良県配布分		三重県配布分	
	人数	割合	人数	割合
日帰り	1,071	70.2%	200	66.9%
1泊	304	19.9%	54	18.1%
2泊	88	5.8%	23	7.7%
3泊	47	3.1%	19	6.4%
4泊	8	0.5%	2	0.7%
5泊以上	7	0.5%	1	0.3%
回答者計	1,525	100.0%	299	100.0%



### 吉野大峯・熊野地域へは何回目の旅行か

奈良県下、三重県下ともに1回目の来訪が最も多いが、奈良県下については10回目以上の来訪も多く、常連・リピーターの来訪者が比較的多くなっている。

回数	奈良県配布分		三重県配布分	
	人数	割合	人数	割合
1回目	310	20.5%	96	32.1%
2回目	215	14.2%	52	17.4%
3回目	181	12.0%	47	15.7%
4回目	87	5.8%	18	6.0%
5回目	152	10.1%	32	10.7%
6~9回目	135	8.9%	24	8.0%
10~19回目	220	14.6%	25	8.4%
20回以上	210	13.9%	5	1.7%
回答者計	1,510	100.0%	299	100.0%

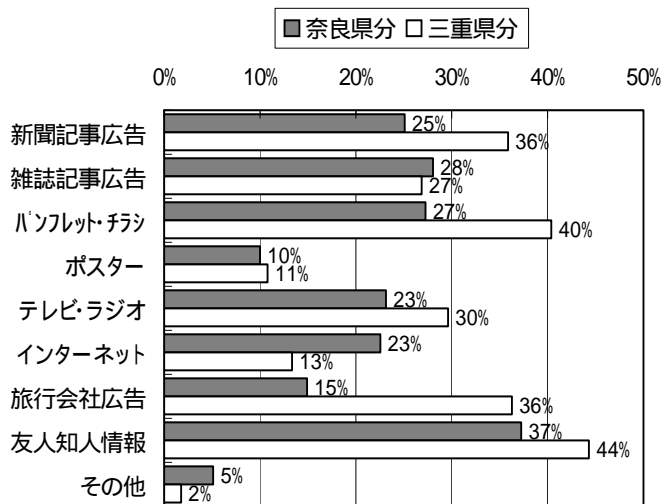


### 吉野大峯・熊野地域の情報入手先

奈良県下、三重県下ともに友人・知人からの情報が最も多いが、三重県下ではパンフレット・チラシ、新聞の記事や広告からの情報の多いことが特徴となっている。

複数回答

情報入手先	奈良県配布分		三重県配布分	
	人数	割合	人数	割合
新聞記事・広告	339	25.1%	103	35.9%
雑誌記事・広告	378	28.0%	77	26.8%
パンフレット・チラシ	368	27.3%	116	40.4%
ポスター	134	9.9%	31	10.8%
テレビ・ラジオ	313	23.2%	85	29.6%
インターネット	304	22.6%	38	13.2%
旅行会社の広告	200	14.8%	104	36.2%
友人・知人情報	502	37.2%	127	44.3%
その他	68	5.0%	5	1.7%
	ガイドブック・地図 50		ガイドブック・地図 4	
	役場・商工会等 10		地元ホテル 1	
	博物館・美術館 5			
	鉄道会社 2			
	映画 1			
回答者計	1,348	100.0%	287	100.0%

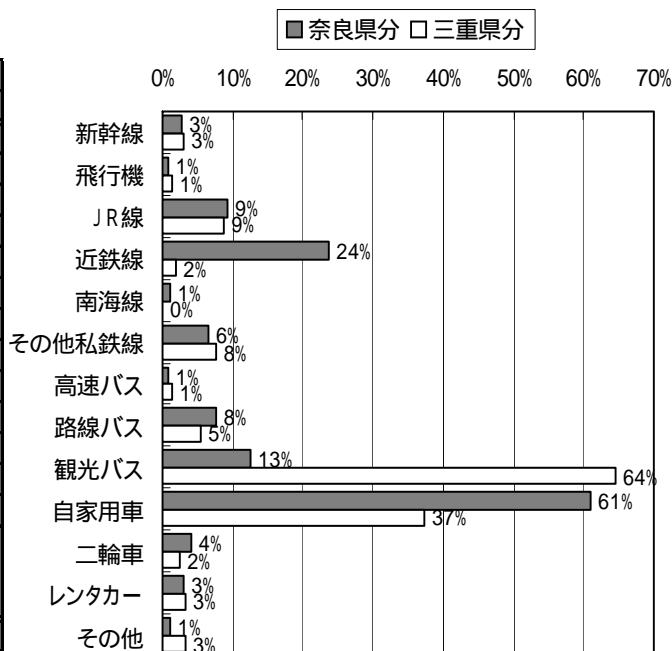


### 移動の交通手段

地域までの交通手段、地域内での交通手段ともに、奈良県下は自家用車が大半である、次いで近鉄線利用が多くなっている。一方、三重県下では観光バス利用が最も多く、次いで自家用車利用が多くなっている。

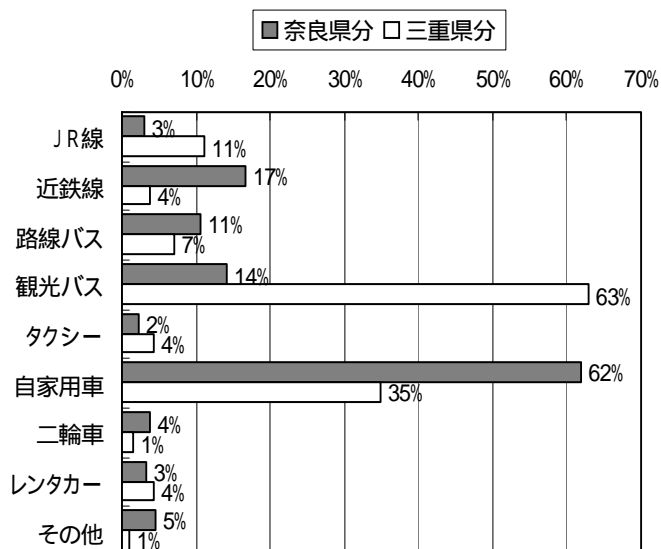
複数回答

地域までの交通手段	奈良県配布分		三重県配布分	
	人数	割合	人数	割合
新幹線	43	2.8%	9	3.0%
飛行機	14	0.9%	4	1.3%
JR線	140	9.3%	26	8.7%
近鉄線	357	23.7%	6	2.0%
南海線	15	1.0%	0	0.0%
その他私鉄線	97	6.4%	23	7.7%
高速バス	12	0.8%	4	1.3%
路線バス	115	7.6%	16	5.4%
観光バス	191	12.7%	192	64.4%
自家用車	919	60.9%	111	37.2%
二輪車	60	4.0%	7	2.3%
レンタカー	45	3.0%	10	3.4%
その他	17	1.1%	10	3.4%
	フェリー 10		フェリー 9	
	送迎バス 5		送迎バス 2	
	タクシー 2			
回答者計	1,509	100.0%	298	100.0%



複数回答

地域内での交通手段	奈良県配布分		三重県配布分	
	人数	割合	人数	割合
JR線	43	3.0%	31	11.0%
近鉄線	235	16.6%	11	3.9%
路線バス	151	10.6%	20	7.1%
観光バス	200	14.1%	177	63.0%
タクシー	34	2.4%	12	4.3%
自家用車	879	62.0%	98	34.9%
二輪車	53	3.7%	4	1.4%
レンタカー	46	3.2%	12	4.3%
その他	66	4.7%	3	1.1%
	ケーブル 51 送迎バス 12 自転車 3		送迎バス 2 自転車 1	
回答者計	1,418	100.0%	281	100.0%

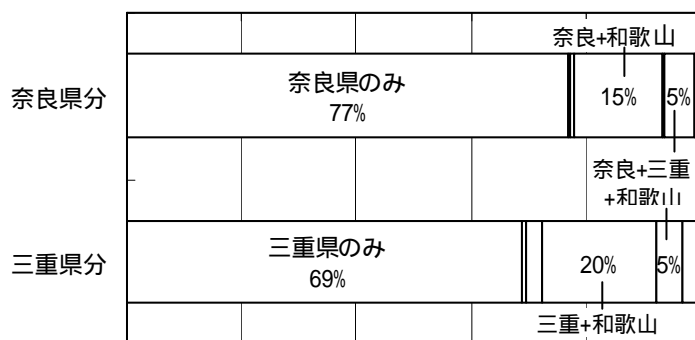


### 訪問した県

奈良県下、三重県下ともに、それぞれの県内のみでの来訪が大半となっており、次いで和歌山県にも来訪した人が多くなっている。各県ともに和歌山県と跨いだ移動はあるが、奈良県・三重県を跨いだ移動は少なくなっている。

訪問県	奈良県配布分		三重県配布分	
	人数	割合	人数	割合
奈良県のみ	1,138	77.0%	0	0.0%
三重県のみ	5	0.3%	203	68.8%
奈良 + 三重	8	0.5%	2	0.7%
奈良 + 和歌山	227	15.4%	8	2.7%
三重 + 和歌山	5	0.3%	59	20.0%
奈良 + 三重 + 和歌山	79	5.3%	14	4.7%
和歌山県のみ	15	1.0%	9	3.1%
回答者計	1,477	100.0%	295	100.0%

0% 20% 40% 60% 80% 0% 100%



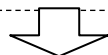


### 3. 流動特性の分析と課題整理

#### (1) 分析の視点

##### < 本世界遺産地域の地理的特性 >

- ・世界遺産対象物は、寺社仏閣や霊場とそれらを結ぶ参詣道である。
- ・世界遺産地域の観光地は、非常に広範囲のエリアに点在している。
- ・奈良県側は山間部に観光地が点在しており道路交通条件も厳しいが、三重県側は鉄道・国道沿道の沿岸部に線的に並んでいるなど、県により地域条件が大きく異なっている。



##### 流動特性の分析の視点

主要な観光地の入込客の状況と、吉野大峯・熊野地域全体としての入込客の状況  
各観光地間・各県間移動の状況  
移動交通手段等の状況

#### (2) 流動特性の分析

##### 主要な観光地の入込客の状況と吉野大峯・熊野地域全体としての入込客の状況

本項においては、本調査における平成 16 年度実態調査と平成 11 年道路交通センサス一般交通量調査との比較、市町村等ヒアリングにより、状況を推測する。

##### < 平成 16 年度実態調査時点の状況 >

- ・平成 16 年 8 月の台風被害により、地域内に多くの通行止箇所が存在していた。国道の通行止箇所は下記の通りであり、交通流動にも多少の影響があったと考えられる。

- ・国道 168 号大塔村宇井（近接迂回路あり）
- ・国道 309 号天川村北角
- ・国道 425 号三重県・奈良県境付近  
下北山村・十津川村境付近  
奈良県・和歌山県境付近

##### < 平成 11 年以降の主な道路改良の状況 >

- ・時間短縮・渋滞緩和等に大きな改善が見込まれる道路改良が下記の箇所で実施された。

- ・国道 309 号下市町広橋トンネル（H13）
- ・国道 169 号川上村伯母谷ループ橋（H14）  
奥瀬道路十津川村～熊野川町付近  
（完成区間から随時供用開始）

\*平成 17 年 3 月には国道 168 号七色高架橋（奈良県・和歌山県境付近）が供用開始。

<平成 11 年道路交通センサスの結果との比較>

\*台数は二輪車を除く数値

\*道路交通センサスは 9～10 月の測定値、H16 実態調査は 11 月 21 日の測定値

地域内の交通量 - 増加箇所が多い。

休日 12 時間交通量	H11 センサ	H16 実態調査
国道 168 号大塔村道の駅	2,954 台	3,075 台 (+ 4.1%)
国道 168 号十津川村上野地	1,830 台	2,128 台 (+ 16.3%)
国道 168 号十津川温泉	2,298 台	2,443 台 (+ 6.3%)
国道 309 号黒滝村道の駅	1,649 台	2,650 台 (+ 60.7%)
国道 169 号川上村道の駅	4,968 台	5,224 台 (+ 5.2%)
国道 169 号上北山村道の駅	2,410 台	2,978 台 (+ 23.6%)
国道 42 号海山町道の駅	8,361 台	12,211 台 (+ 46.0%)

地域の縁辺部 (玄関口) - 交通量に大きな変化はない。

休日 12 時間交通量	H11 センサ	H16 実態調査
国道 169 号大淀町道の駅	16,028 台	16,038 台 (+ 0.1%)
県道 28 号吉野町三茶屋	2,723 台	2,715 台 (- 0.3%)
国道 370 号吉野町三茶屋	1,856 台	1,693 台 (- 8.8%)
県道 16 号東吉野村鷲家	2,201 台	1,647 台 (- 25.2%)
国道 168 号十津川村七色	1,977 台	1,589 台 (- 19.6%)

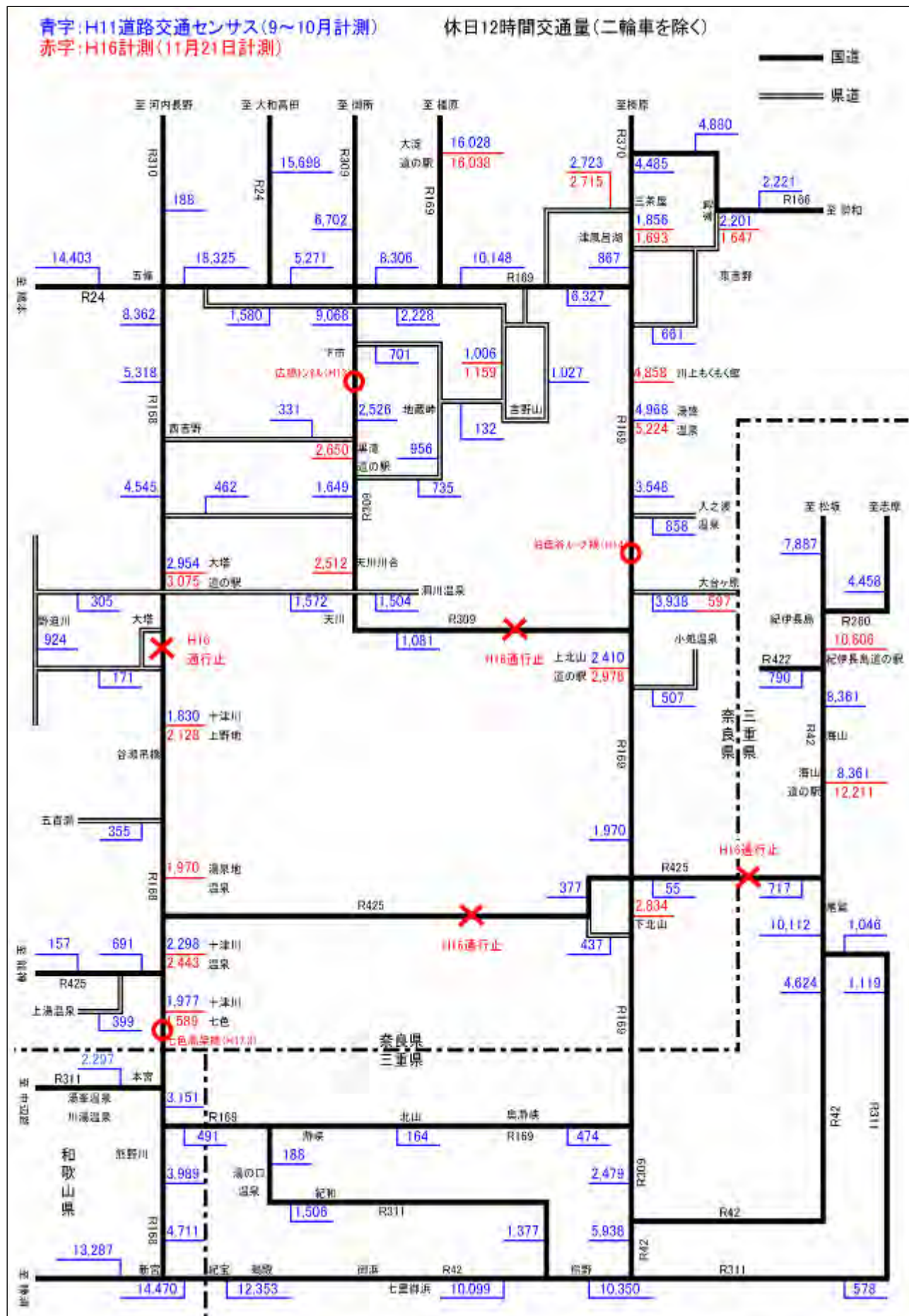
<各観光地の入込客数の動向> (実態調査の結果分析 + 市町村ヒアリング等より)

- ・吉野山、熊野古道伊勢路は観光客が大きく増加
- ・十津川、洞川温泉、大台ヶ原等のその他の観光地では大きく増加していない。  
台風 (道路通行止 + 風評被害) の影響で減少した地点もある。
- ・季節的な入込客数の多少の差が縮小する傾向にある。  
(従来は新緑・桜、夏休み、紅葉時期のみに集中する傾向にあったが、冬季をはじめとしたシーズンオフにも来訪者が見られるようになった)

[十津川村公衆浴場入湯者数実績 (十津川村資料)]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
H15	6,037	8,630	4,986	6,392	11,565	7,301	7,011	7,935	4,445	6,542
H16	6,987	10,987	6,178	9,125	10,642	8,097	6,044	6,914	8,091	6,363
増減	+15%	+27%	+23%	+42%	8%	+10%	14%	13%	+14%	3%

<平成 16 年度実態調査と平成 11 年道路交通センサスによる道路交通量の比較図>



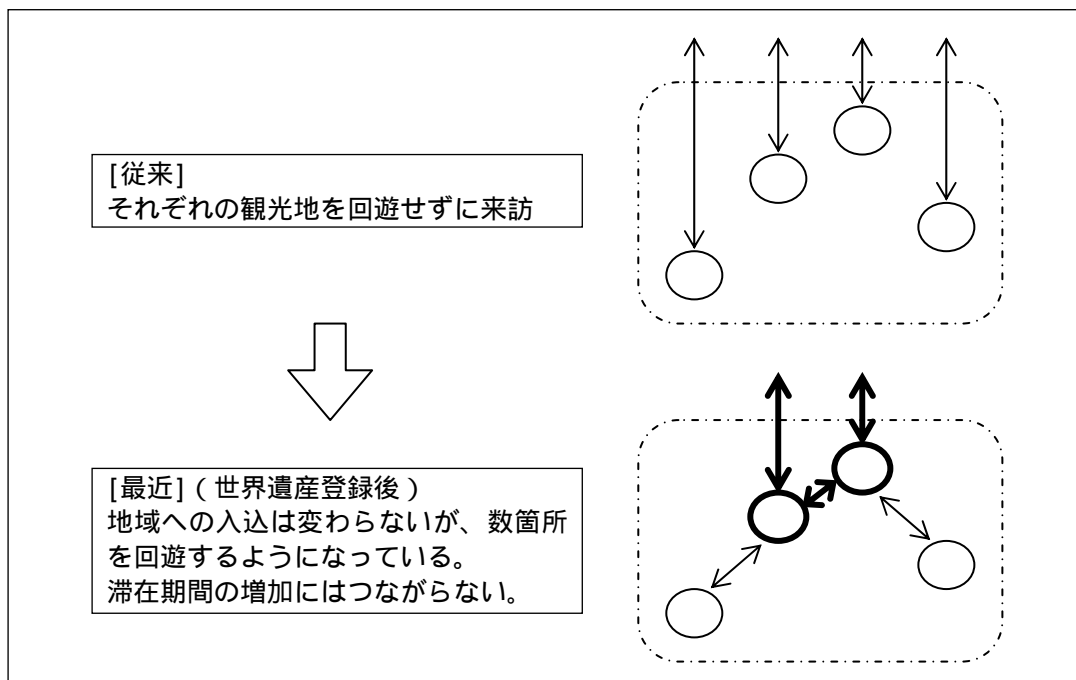
< 動向のまとめ > 奈良県側と三重県側では動向にも違いがあると考えられる。

【奈良県側】

入込客数の増加している観光地もあるが、吉野大峯地域全体としての入込客数は大きく増加していないものと推測される。

- ・従来はそれぞれの人々が地域内の多様な場所に来訪していたが、吉野山、天川・洞川温泉を中心に回遊するようになっている。
- ・一度の来訪で数箇所の観光地を回遊するようになっているものの、旅行期間の延長にはつながらず、短時間の広範囲移動になっている。
- ・このため、名所や施設にじっくりと立ち寄らず、駆け足通過型の観光が多くなっている。

[奈良県側の流動状況の変化]



《主要観光地の入込客数推計》(平成16年11月休日の推計)

地区	推計入込客数
吉野山	4,900人/日
天川・洞川温泉	4,450人/日
十津川	3,400人/日
大台ヶ原	950人/日
熊野参詣道小辺路	230人/日
大峯奥駈道	670人/日

\*吉野山、天川・洞川温泉、十津川、大台ヶ原は、観光地内自動車交通量、鉄道バス乗降者数より推計

\*熊野参詣道小辺路は峠道歩行者通行量より推計

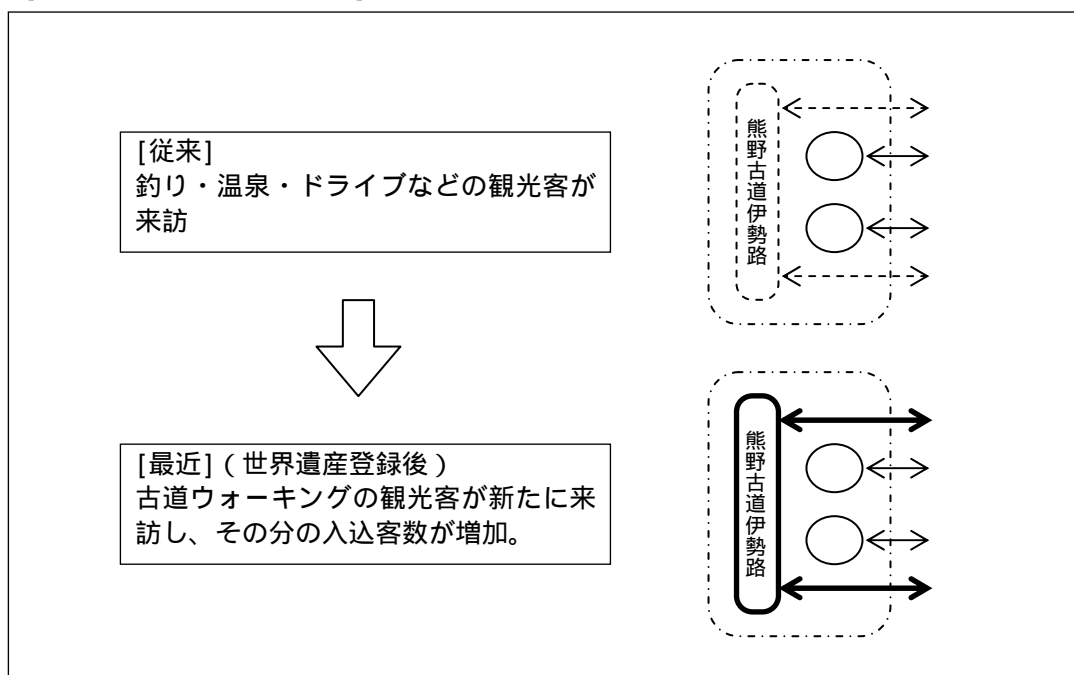
\*大峯奥駈道はアンケート調査より天川・洞川入込客数の15%と設定

【三重県側】

熊野古道伊勢路への来訪者数とともに、地域への入込客数も大きく増加しているものと推測される。

- ・従来は熊野古道伊勢路への来訪者は非常に少なく、地域への来訪は釣り・温泉・ドライブ等の観光が多かった。
- ・世界遺産登録により古道ウォーキングを目的とした観光客が増加している。これらの観光客は従来の客層が回遊しているのではなく、新たな客層であるため、ほとんどが純粋な増加になっているものと想定される。

[三重県側の流動状況の変化]



《主要観光地の入込客数推計》(平成16年11月の休日の推計)

地区	推計入込客数
熊野古道伊勢路	1,100人/日

\*熊野古道伊勢路は峠道歩行者通行量より推計

## 各県・各観光地間移動の状況

### < 各県間移動 >

奈良県・三重県ともに、各県内のみ観光が最も多い。  
 和歌山県下の観光地にも来訪する人もそれぞれ20%以上は存在する。  
 (「本宮」をめざして観光する人も多いといえる)  
 奈良県と三重県の間來回遊・観光移動は非常に少ない。(各県の5~6%)

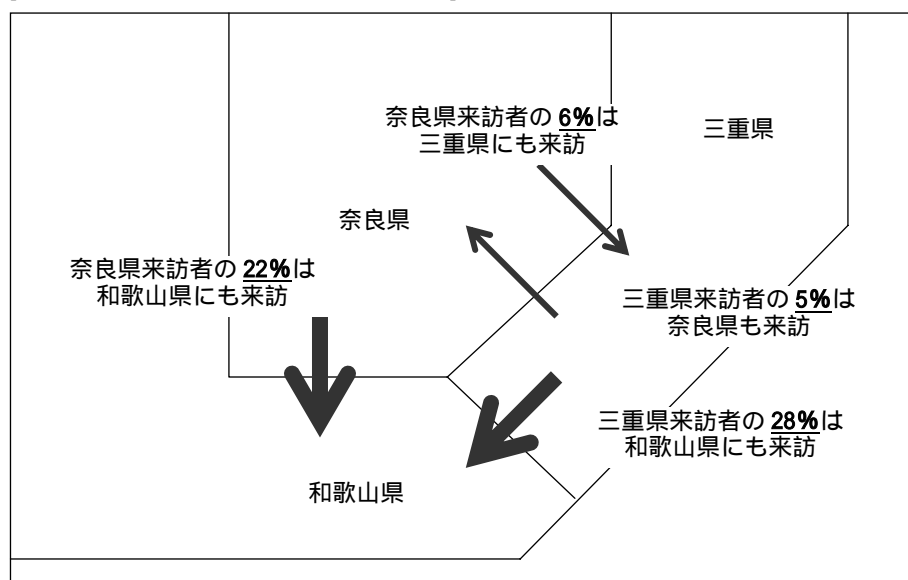
[奈良県においてアンケート調査を配布した人の訪問県の状況]

奈良県配布分	割合
奈良県のみ	77.0%
奈良+三重	0.5%
奈良+和歌山	15.4%
奈良+三重+和歌山	5.3%
三重県のみ	0.3%
和歌山県のみ	1.0%
三重+和歌山	0.3%
回答者計	100.0%
奈良県のみ訪問	77.0%
三重県を訪問	6.4%
和歌山県を訪問	22.0%

[奈良県においてアンケート調査を配布した人の訪問県の状況]

三重県配布分	割合
三重県のみ	68.8%
三重+奈良	0.7%
三重+和歌山	20.0%
三重+奈良+和歌山	4.7%
奈良県のみ	0%
和歌山県のみ	3.1%
奈良+和歌山	0%
回答者計	100.0%
三重県のみ訪問	68.8%
奈良県を訪問	5.4%
和歌山県を訪問	27.8%

[各県来訪者における各県間移動割合]



< 各観光地間移動 >

奈良県側では、吉野山、十津川、天川・洞川温泉への来訪者が多い。  
 三重県側では、馬越峠、始神峠への来訪者が多い。  
 奈良県、三重県ともに、県内でも1地区の観光地のみを訪問する来訪者が最も多い。  
 1回の旅行における平均来訪地区数は、奈良県 1.16 地区、三重県 1.29 地区である。

[今回の旅行で訪問した観光地（アンケート調査による各県来訪者数における割合）] 複数回答

奈良県配布分		三重県配布分	
吉野山	42%	馬越峠	43%
十津川	25%	始神峠	23%
天川・洞川温泉	24%	松本峠	19%
大台ヶ原	8%	ツツラト峠	13%
大峯奥駈道	6%	通り峠・湯の口・瀨峡周辺	11%
熊野参詣道小辺路	5%	一石峠	8%
本宮・那智周辺（和歌山県）	19%	本宮・那智周辺（和歌山県）	29%
高野山（和歌山県）	8%	十津川等（奈良県）	7%
熊野古道伊勢路（三重県）	6%		

[アンケート調査による回遊数（上記の主要観光地を何箇所訪問したか？）]

\*上記以外の観光地のみを来訪した場合は1地区としている

	奈良県分	三重県分
1地区	83%	66%
2地区	12%	13%
3地区	2%	3%
4地区	0.3%	4%
5地区	0.1%	2%
6地区	0.1%	0.3%
平均	1.16地区	1.29地区



## 移動交通手段等の状況

奈良県側は、近畿地方からの自家用車による来訪が中心である。

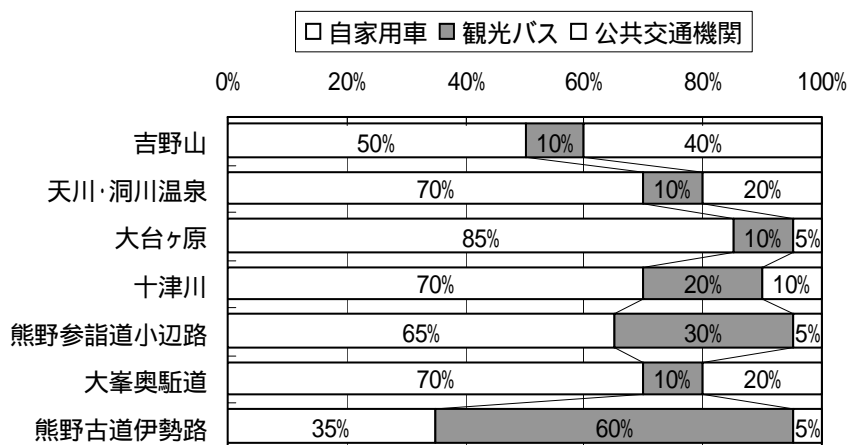
- [吉野山] 自家用車利用が 50%と最も高いが、近鉄吉野駅が近接している影響で、公共交通利用が 40%と非常に高くなっている。
- [天川・洞川温泉] 自家用車利用が 70%と高いが、大峯奥駈道方面への登山者が含まれることも影響して、公共交通利用も 20%と比較的高くなっている。
- [大台ヶ原] 公共交通の利便性が低いこと、ドライブとして来訪する人も多いことから、自家用車利用が 85%と高くなっている。
- [十津川] 自家用車利用が 70%と高いが、本宮来訪の団体客の立ち寄りが影響して、観光バス利用が 20%と比較的高くなっている。
- [熊野参詣道小辺路] 自家用車利用が 65%と最も多いものの、登山口までの公共交通利便性が低く、団体客も多いことから、観光バス利用が 30%と比較的高くなっている。
- [大峯奥駈道] 天川・洞川温泉を拠点とする登山者・行者が多いことから、天川・洞川温泉と同様の傾向を示している。

三重県側は、県内や東海地方からの観光バス・シャトルバスによる来訪が中心である。

- [熊野古道伊勢路] 団体客・ツアー客が多く、シャトルバス運行の来訪者増加に影響しているため、観光バス利用が最も高くなっている点が特徴的である。

[実態調査及びアンケートから推計した入込客数に対する移動交通手段の割合]

主要観光地	自家用車	観光バス	公共交通機関
吉野山	50%	10%	40%
天川・洞川温泉	70%	10%	20%
大台ヶ原	85%	10%	5%
十津川	70%	20%	10%
熊野参詣道小辺路	65%	30%	5%
大峯奥駈道	70%	10%	20%
熊野古道伊勢路	35%	60%	5%



### (3) 流動に関わる課題の抽出

#### <吉野大峯・熊野地域に求められる旅行像>

多くの観光客に来訪して欲しい(入込客数の増加)

- ・各観光地の来訪者数を増加させたい
- ・吉野大峯・熊野地域全体の入込客実数も増加させたい

地域内の多くの場所を訪問して欲しい

- ・1回の旅行で多くの場所を訪問してもらう(観光地相互の回遊性を高める)
- ・何回も来訪してもらう(次回は他の観光地にも行きたくするような情報を提供する)

長時間・長期間滞在して欲しい

- ・吉野大峯・熊野地域に長期間滞在して欲しい
- ・各観光地に長時間滞在して欲しい

#### <実態調査からみえる吉野大峯・熊野地域への旅行の傾向>(詳細は次章参照)

短時間に多くの場所を駆け足で回遊するあわただしい旅行の増加

集客範囲は大きく広がっていない。(奈良県側は近畿地方、三重県側は東海地方が中心)

#### 課 題

『ファストトリップ(fast trip)』から『スローツーリズム(slow tourism)』への誘導

来訪者の実数を増加させる必要がある。

- ・多くの人、様々なタイプの旅行者が訪れやすく、そしてさらに魅力を感じてまた訪れたいくなる様な地域とすべきである。
- ・災害脆弱性の改善
- ・中高年旅行者が多いことへの対応(移動の「わかりやすさ+安全性」の重視)

地域全体の回遊性を高める必要がある。

- ・地域の観光資源が広範囲に点在しているため、地域としての回遊可能性を高める必要がある  
特に、県・市町村を跨いだ移動の可能性を高める必要がある。
- ・地理的な要因から、国道168号、国道309号、国道169号、国道42号を軸とした南北方向の移動は比較的容易だが、東西方向の移動は不便である。

旅行期間(旅行日数)の長期化を促進する必要がある。

- ・利便性の追求ではなく、吉野大峯・熊野地域の「奥深さ」を感じさせ、長期滞在を誘導する必要がある。

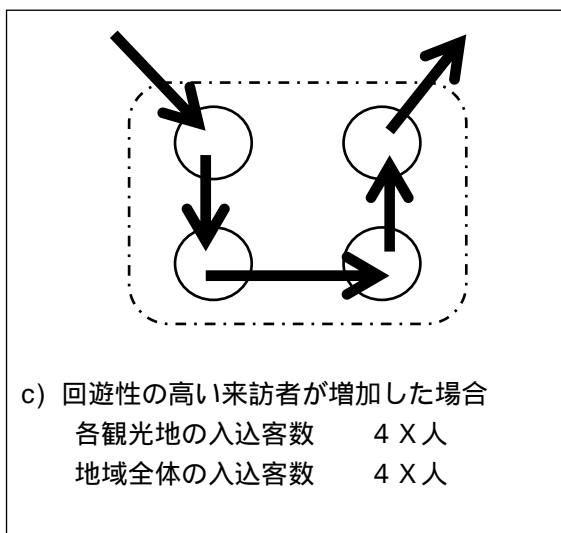
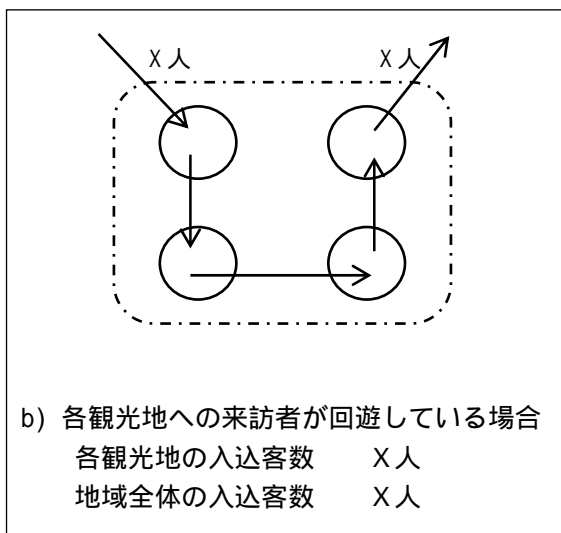
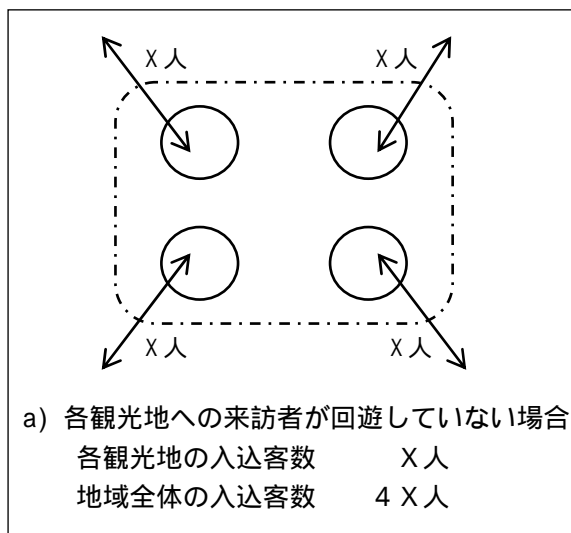
集客範囲を拡大する必要がある。

- ・多様な交通手段による全国各地からの来訪を考える必要がある。  
外国人の来訪促進も図る必要がある。

< 地域経済効果を向上させるために誘導が必要な来訪パターン >

- ・「延べ数」ではなく「実数」としての来訪者数の増加
- ・回遊性の向上だけではなく、滞在日数の増加（地域内での宿泊の促進）

[来訪者の回遊の概念]



- 各観光地の入込客数の延べ数が増加しても、地域全体の入込客数の実数が増加しないと、地域経済効果の向上にはつながりにくい。
- 入込客数の実数を増加させた上で、宿泊を伴うなど、旅行期間の長期化を推進することが、さらなる地域経済効果の向上には必要である。  
(同一の人の回遊観光地数が増加しても、宿泊や旅行期間の延長が伴わない場合、消費の増加、地域経済への貢献にはつながりにくい)

#### 4. 調査システムの開発研究

##### < 従来の観光入込客数統計 >

- ・奈良県 観光客動態調査
- ・三重県 観光レクリエーション入込客推計

両県ともに、毎年実施し、各月ごとの数値も算定している。

主要な名所や観光施設入場数、イベント動員数等を算定し、これらの合計を入込客数としている。

三重県では自然公園エリアごとに入込客延数から入込客実数の推計も実施している。

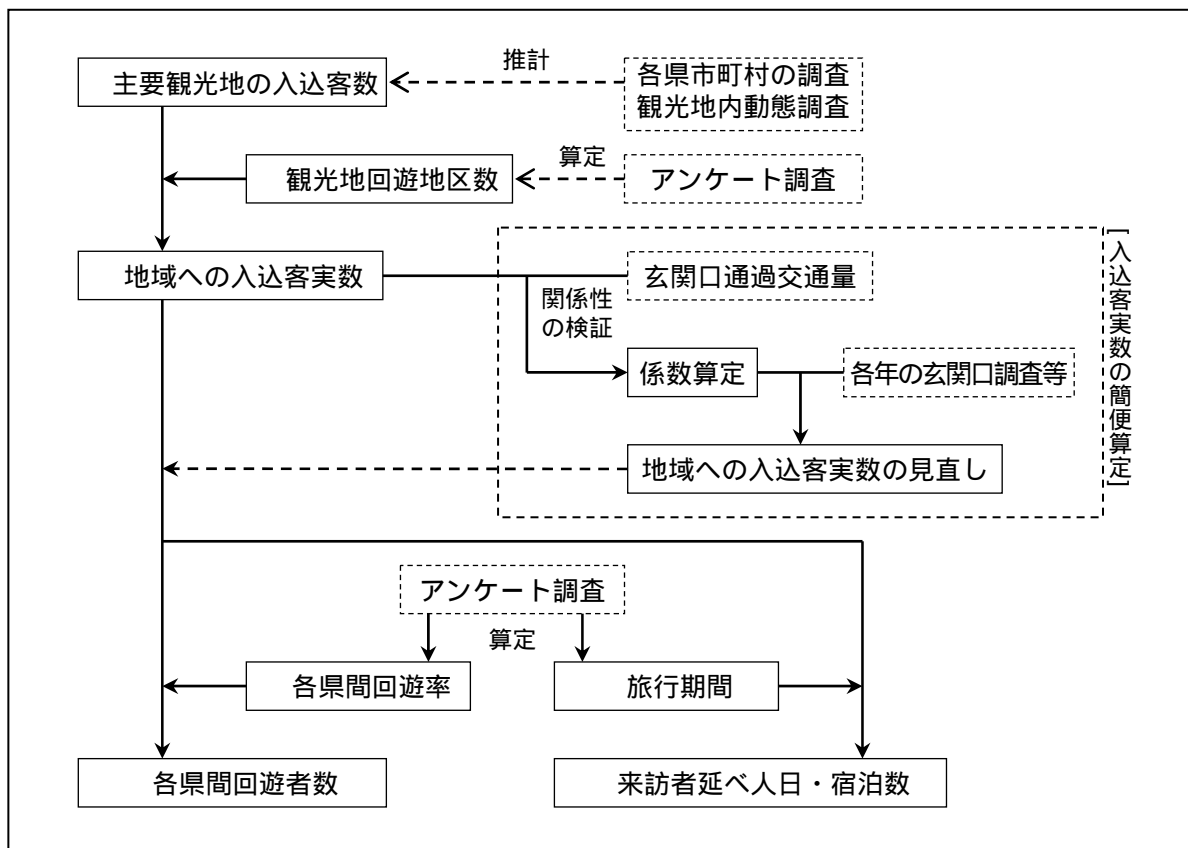
##### < 算定の課題 >

- ・計測方法が施設や場所により異なっている。  
(入場者数等を正確に計測しているケースもある一方で、前年度からの増減を感覚的に判断して推計しているケースもある)
- ・奈良県では、入込客数は各施設の利用者数等の合計「延べ数」であり、来訪者の「実数」ではない。このため、同一人物が回遊する「重複分」は、従来の統計では考慮されていない。
- ・一方、三重県では入込客延べ数から同一人物が回遊する「重複分」について係数を用いて処理し、実数の算定作業を行っている。

経済効果の検討には、来訪者の延べ数ではなく「実数」の算定が望まれる。

「地域への入込客数」の算定が必要である。

##### < 実質的な入込客数等、観光データ算定の考え方 >



## 主要観光地への入込客数

本調査による実態調査より、主要観光地の11月休日の1日入込客数を推計するとともに、各県のこれまでの観光統計等より、月及び年間入込客数を推計する。

[主要観光地の入込客数推計] (平成16年の推計)

地区		推計入込客数		
		11月休日	11月1ヶ月	年間
奈良県	吉野山	4,900人/日	62,700人/月	529千人/年
	天川・洞川温泉	4,450人/日	57,000人/月	758千人/年
	十津川	3,400人/日	43,500人/月	365千人/年
	大台ヶ原	950人/日	12,200人/月	84千人/年
	熊野参詣道小辺路	230人/日	2,900人/月	24千人/年
	大峯奥駈道	670人/日	8,600人/月	114千人/年
	合計延べ数	14,600人/日	186,900人/月	1,874千人/年
三重県	熊野古道伊勢路	1,100人/日	14,100人/月	178千人/年
	ツツラト峠	160人/日	2,050人/月	25.9千人/年
	一石峠	10人/日	130人/月	1.7千人/年
	始神峠	150人/日	1,920人/月	24.2千人/年
	馬越峠	530人/日	6,790人/月	85.7千人/年
	松本峠	220人/日	2,820人/月	35.6千人/年
	通り峠	30人/日	390人/月	4.9千人/年
	その他熊野地域	11,000人/日	141,000人/月	1,780千人/年
	合計延べ数	12,100人/日	155,100人/月	1,958千人/年

\*吉野山、天川・洞川温泉、十津川、大台ヶ原は、観光地内自動車交通量、鉄道バス乗降者数より推計

\*熊野参詣道小辺路、熊野古道伊勢路は峠道歩行者通行量より推計

\*大峯奥駈道はアンケート調査より天川・洞川入込客数の15%と設定

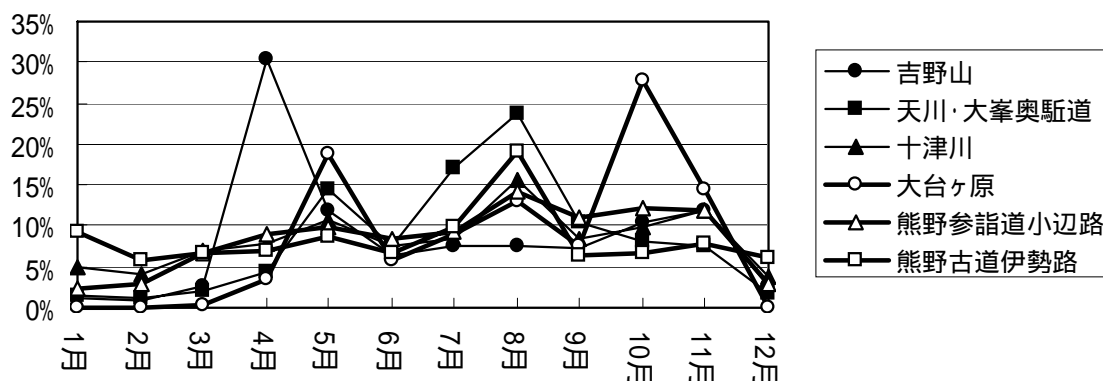
\*その他熊野地域は、平成14年三重県観光レクリエーション入込客推計より設定

\*1ヶ月客数は、休日6日、土曜は休日の70%で4日、平日は休日の20%で20日と想定して算出

\*年間客数は、下表の月別入込客数割合より算定

[参考.各観光地の月別入込客数割合(年間=100%)] 各県の平成14年観光統計等より算定

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
吉野山	1%	1%	3%	30%	12%	6%	8%	7%	7%	10%	12%	3%	100%
天川洞川 大峯奥駈道	1%	1%	2%	4%	15%	8%	17%	24%	10%	8%	8%	2%	100%
十津川	5%	4%	7%	8%	11%	7%	9%	16%	9%	10%	12%	4%	100%
大台ヶ原	0%	0%	0%	3%	19%	6%	9%	13%	8%	28%	15%	0%	100%
熊野参詣道小辺路	2%	3%	7%	9%	10%	8%	9%	14%	11%	12%	12%	3%	100%
熊野古道伊勢路 尾鷲・熊野	9%	6%	7%	7%	9%	7%	10%	19%	6%	7%	8%	6%	100%



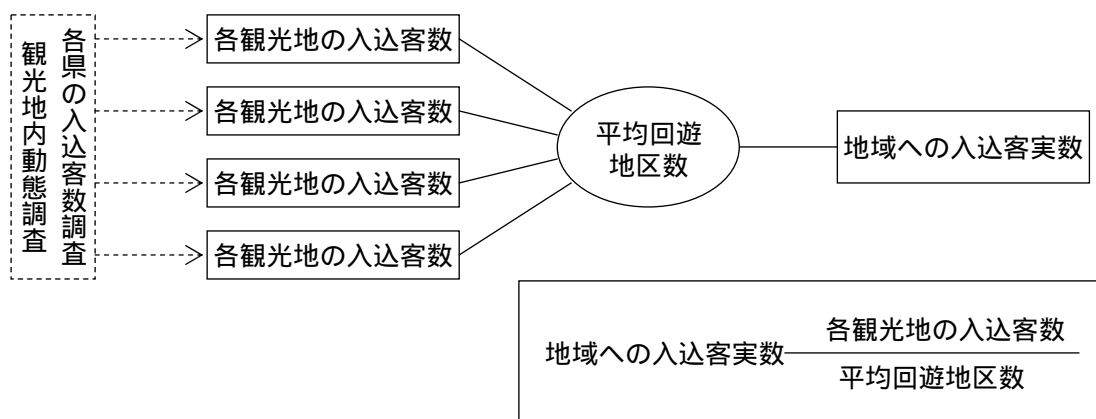
## 観光地回遊地区数

前項の主要観光地を1回の旅行で何ヶ所訪問したかについて、アンケート調査より算定した。  
なお、上記以外の観光地のみを来訪した場合は「1地区」としている。(表は前掲)

	1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	平均
奈良県	83%	12%	2%	0.3%	0.1%	0.1%	1.16地区
三重県	66%	13%	3%	4%	2%	0.3%	1.29地区

## 地域への入込客実数

主要観光地の入込客数の総和を平均回遊地区数で除することにより算定する。



		11月休日	11月1ヶ月	年間
奈良県	観光地合計延数	14,600人/日	186,900人/月	1,874千人/年
	回遊地区数	1.16地区/人		
	各県入込客実数	12,600人/日	161,100人/月	1,616千人/年
三重県	観光地合計延数	12,100人/日	155,100人/月	1,958千人/年
	回遊地区数	1.29地区/人		
	各県入込客実数	9,400人/日	120,200人/月	1,518千人/年

## 各県間回遊率

アンケート調査から、各県来訪者が他県観光地にも訪れる割合は下記の通りである。(再掲)

奈良県来訪者	割合
奈良県のみ訪問	77%
三重県にも訪問	6%
和歌山県にも訪問	22%

三重県来訪者	割合
三重県のみ訪問	69%
奈良県にも訪問	5%
和歌山県にも訪問	28%

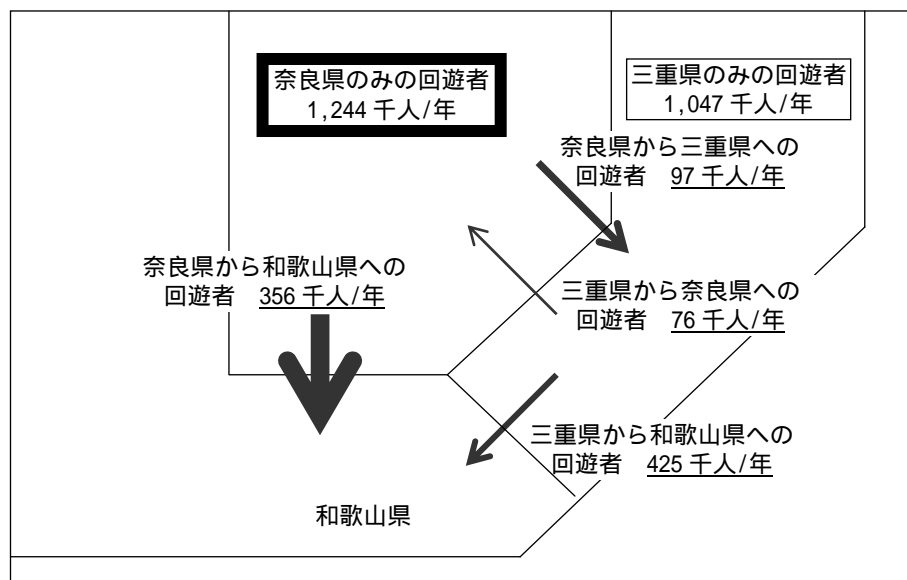
三重県・奈良県・和歌山県の3県を訪問する人も含まれるため、合計は100%にならない。

## 各県間回遊者数

前項の回遊率を各県入込客実数に乗じて、各県間の回遊者数を算定する。

		回遊率	11月休日	11月1ヶ月	年間
奈良県	各県入込客実数	100%	12,600人/日	161,100人/月	1,616千人/年
	奈良県のみを回遊	77%	9,700人/日	124,100人/月	1,244千人/年
	奈良県 三重県	6%	800人/日	9,700人/月	97千人/年
	奈良県 和歌山県	22%	2,800人/日	35,400人/月	356千人/年
三重県	各県入込客実数	100%	9,400人/日	120,200人/月	1,518千人/年
	三重県のみを回遊	69%	6,500人/日	82,900人/月	1,047千人/年
	三重県 奈良県	5%	500人/日	6,000人/月	76千人/年
	三重県 和歌山県	28%	2,600人/日	33,700人/月	425千人/年
奈良県・三重県エリア入込客実数			22千人/日	281千人/月	3,134千人/年

[年間回遊者数の推計]



## 旅行期間

アンケート調査から、各県訪問者の旅行期間は下記のようになっている。

旅行期間	奈良県	三重県
日帰り	70%	67%
1泊	20%	18%
2泊	6%	8%
3泊	3%	7%
4泊	0.5%	0.7%
5泊以上	0.5%	0.3%



## 来訪者延べ人日・宿泊数

来訪者延べ人日及び宿泊数（延べ数）は、下記のように算定する。

$$\text{来訪者延べ人日} = [(\text{宿泊数} + 1) \times \text{宿泊数割合} \times \text{入込客実数}]$$

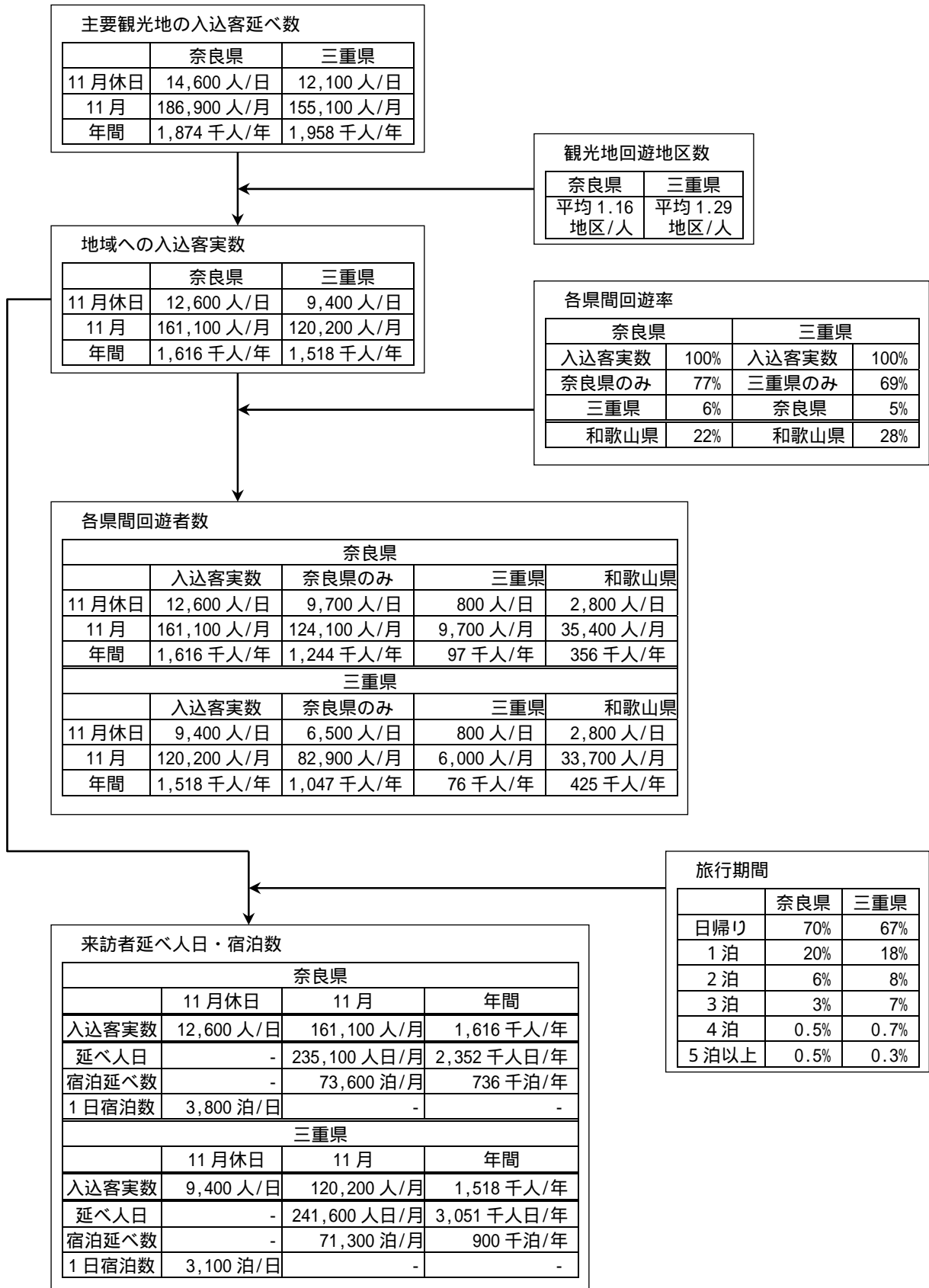
$$\text{宿泊数} = [(\text{宿泊数}) \times \text{宿泊数割合} \times \text{入込客実数}]$$

$$\text{1日宿泊数} = \text{入込客実数} \times (1 - \text{日帰客割合})$$

旅行期間	奈良県			
	割合	11月休日	11月1ヶ月	年間
入込客数		12,600 人/日	161,100 人/月	1,616 千人/年
日帰り	70%	8,820 人/日	112,770 人/月	1,131 千人/年
1泊	20%	2,520 人/日	32,550 人/月	323 千人/年
2泊	6%	756 人/日	9,666 人/月	97 千人/年
3泊	3%	378 人/日	4,833 人/月	49 千人/年
4泊	0.5%	63 人/日	806 人/月	8 千人/年
5泊以上	0.5%	63 人/日	805 人/月	8 千人/年
延べ人日		-	235,100 人日/月	2,352 千人日/年
宿泊数（延べ数）		-	73,600 泊/月	736 千泊/年
1日宿泊数		3,800 泊/日	-	-

旅行期間	三重県			
	割合	11月休日	11月1ヶ月	年間
入込客数		9,400 人/日	120,200 人/月	1,518 千人/年
日帰り	67%	6,298 人/日	80,534 人/月	1,017 千人/年
1泊	18%	1,692 人/日	21,636 人/月	273 千人/年
2泊	8%	752 人/日	9,616 人/月	121 千人/年
3泊	7%	658 人/日	8,414 人/月	106 千人/年
4泊	0.7%	66 人/日	841 人/月	11 千人/年
5泊以上	0.3%	28 人/日	361 人/月	5 千人/年
延べ人日		-	241,600 人日/月	3,051 千人日/年
宿泊数（延べ数）		-	71,300 泊/月	900 千泊/年
1日宿泊数		3,100 泊/日	-	-

< 観光入込客推計のまとめ >



## 広域観光エリアへの入込客実数の簡便算定方法の整理

観光地域への入込客実数推計の基準的な方法は、「観光消費による経済波及効果推計」(国土交通省総合政策局観光部)に詳細に記載されており、基本的にはこの手法を適用すべきである。前項における入込客実数の推計も、概ねこの手法の考えた方に準じて算定している。

[吉野大峯・熊野地域などの広域観光エリアにおいて算定する場合の課題]

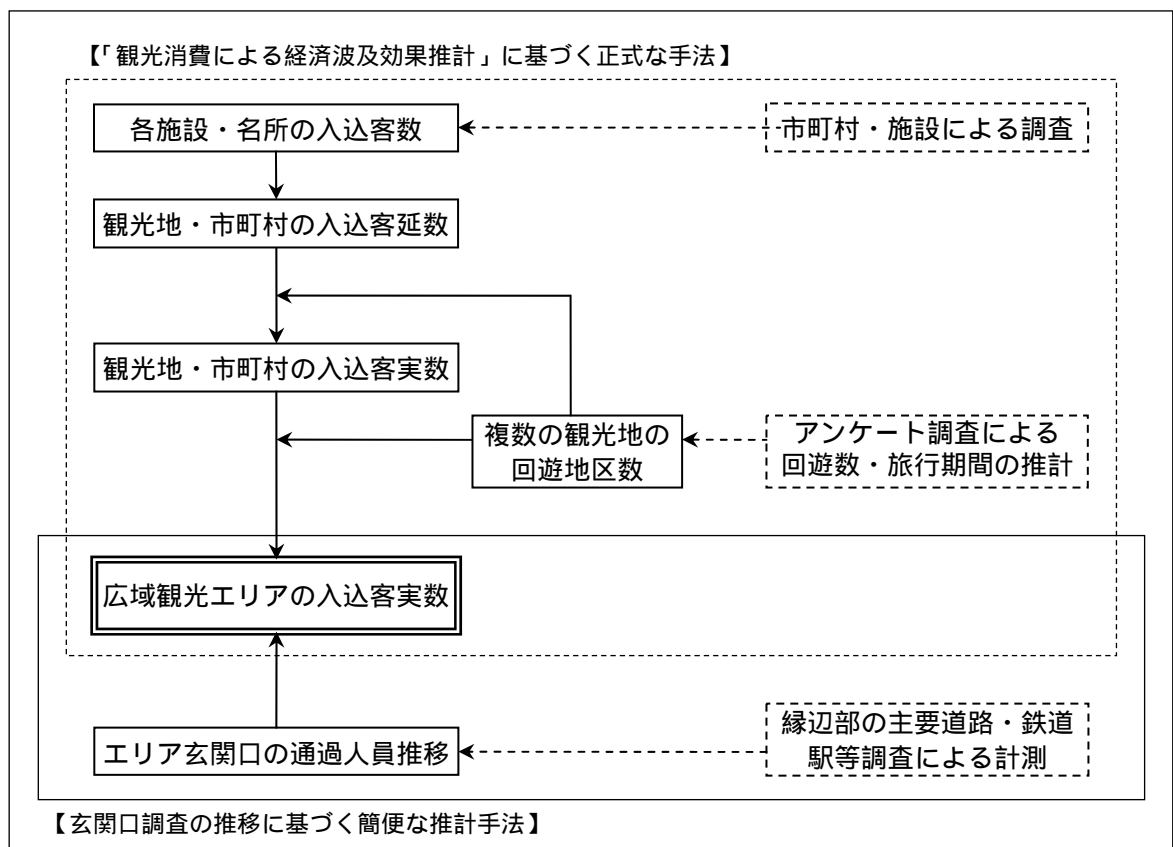
複数の県や市町村をまたぎ、観光客の回遊が広範囲である広域観光エリアでは、全体の入込客実数の算定に対し下記のような課題が挙げられる。

### 対象施設・市町村が多いことによる作業量及び誤差の増大

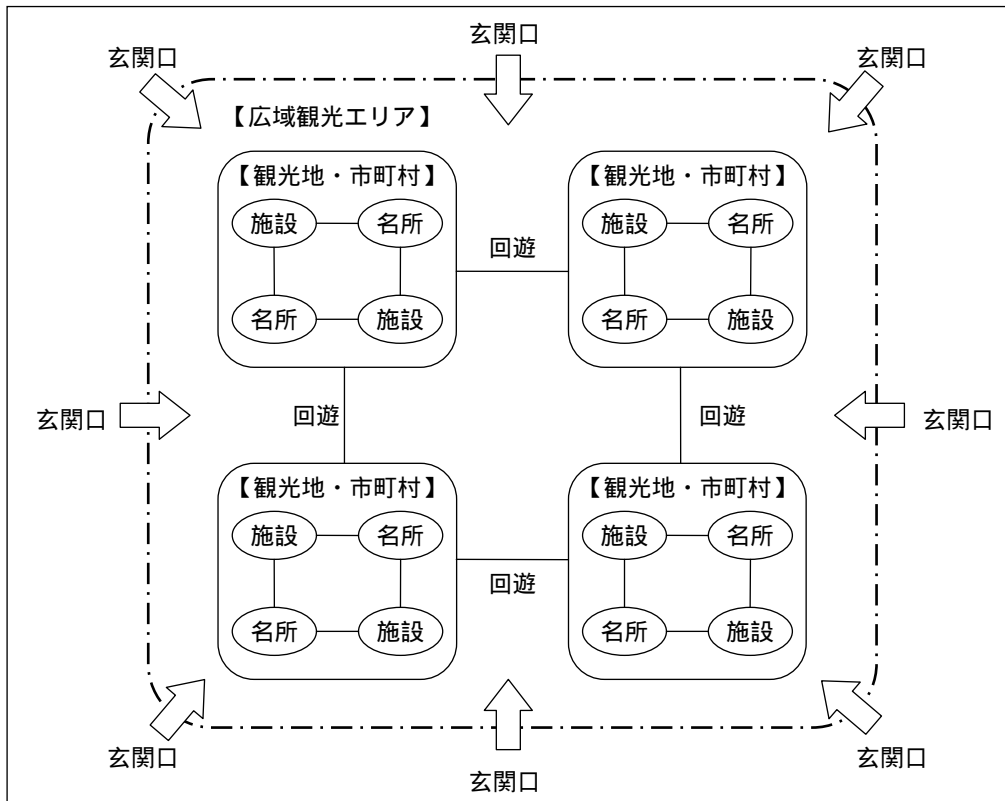
各施設や名所の利用者・入込客数の累計が基本となるが、各所における算定・推計方法や精度には差が生じるため、誤差が生じやすい。また各回の算定・集計・推計等も膨大な作業量になる。

このため、経年的な推移を算定する段階では、簡便な推計方法を採用し、誤差を少なくする必要がある。

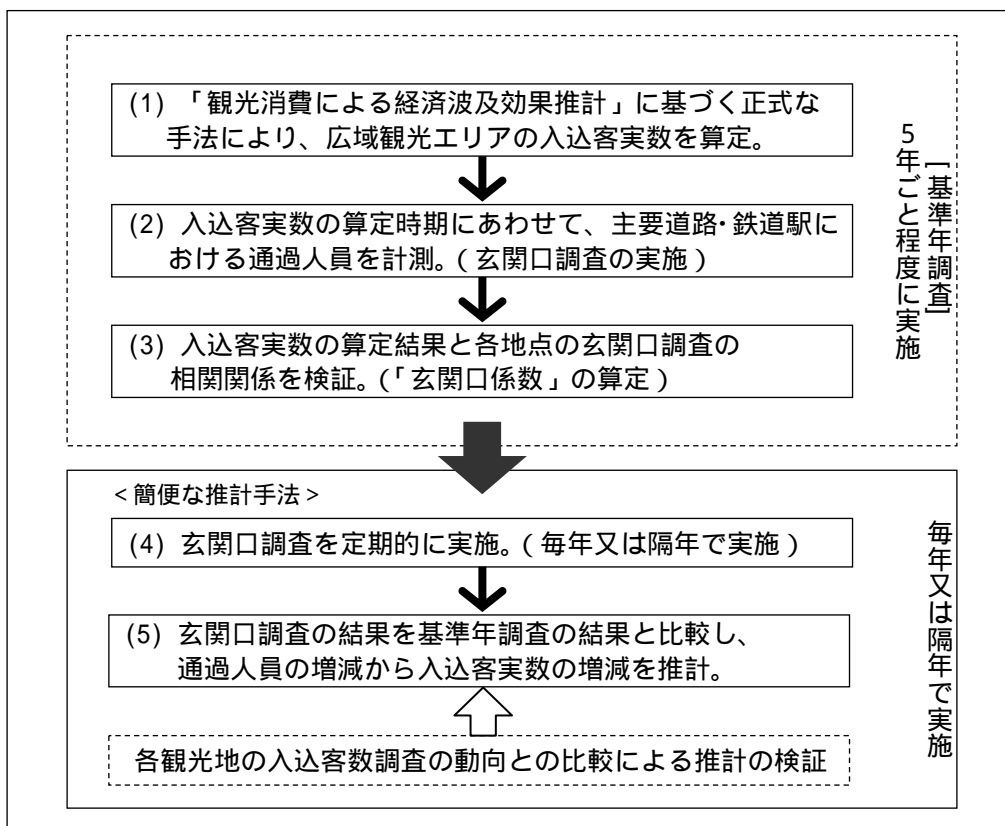
広域観光エリアの「玄関口・縁辺部」の人の流れの変化から、エリア全体の入込客実数を推計



< 「玄関口調査」の概念 > 広域観光エリアの縁辺部の通過数を計測する。



< 『玄関口調査』による広域エリア入込客数の推計 >



## 玄関口調査の実施方法案

### < 実施時期 >

- ・できるだけ毎年実施し、経年的な変化を観測する。
- ・季節ごとに計測して、季節変動の動向を把握できると精度が高まる。

### < 実施地点 >

- ・広域観光エリアの縁辺部における国道などの主要道路
- ・広域観光エリア内の都道府県境における国道などの主要道路
- ・広域観光エリアへの到着地として観光客が多く乗降する主要鉄道駅・高速バス停等

### < 実施方法 >

- ・主要道路については、方向別・車種別の休日 12 時間断面交通量を計測（二輪車も含む）
- ・鉄道駅・バス停については、休日 12 時間の乗降人員を計測

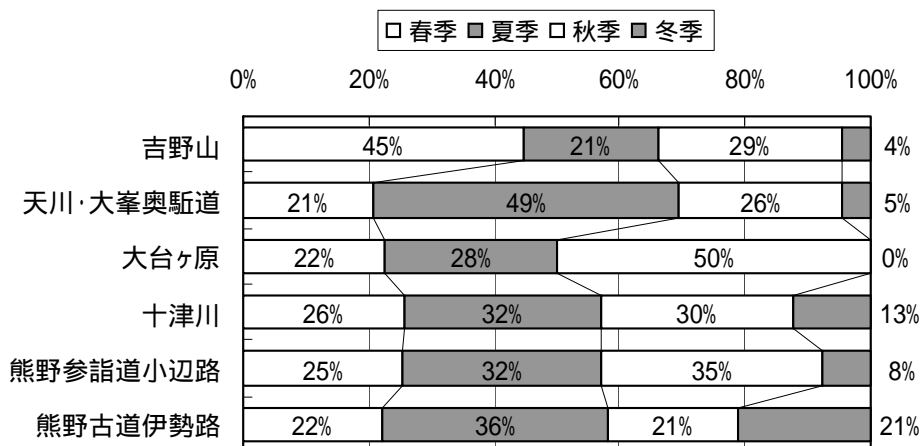
### < 係数の精度の向上と季節ごとの係数算定 >

- ・玄関口調査は継続的に実施して係数算定を繰り返すことにより、「玄関口係数」の精度の向上させていく必要がある。
- ・季節により玄関口交通量と入込客数の関係は季節により異なることが多く、特に本地域においては観光地により季節特性が異なるため、季節ごとに玄関口調査を実施し、「玄関口係数」を算定することが望まれる。

#### [各観光地の季節ごとの入込客数割合]

(資料：平成 14 年の奈良県・三重県観光統計調査より算定)

春季：3～5月、夏季：6～8月、秋季：9～11月、冬季：12～2月



#### 【各観光地の季節特性】

吉野山は春季に観光客が多い「春型」、天川洞川・大峯奥駈道は「夏型」、大台ヶ原は「秋型」、十津川・熊野参詣道小辺路は「春夏秋型」、熊野古道伊勢路は「通年型」といえる。

### < 公共交通利用率の算定 >

- ・道路の通過交通量の推移と鉄道駅等の乗降人員の推移を比較し、入込客数に対する公共交通利用率の変動を算定すると効果的である。

#### < 他調査の活用 >

- ・ 道路交通量調査については、道路交通センサスや各自治体・警察による交通量調査がある場合には、調査地点や調査時期に注意しながら効果的に活用する。なお、道路交通センサスは概ね5年ごとに9～10月の秋季に実施される。
- ・ 鉄道駅等の乗降人員に関しては、鉄道会社が発表する乗車人員があるが、年間総数による発表が多く休日1日の数値が把握できないこと、定期券及び乗車券の発売数による数値が多いことから実際の乗降人員数との誤差もあること、企業収支に関わる数値であるため正確な数値は秘匿されやすいことなどから活用は難しいため、調査員による計測が望ましい。

#### < 推計結果の検証 >

- ・ 本項では玄関口調査からの入込客実数の推計方法を提示しているが、あくまでも簡便な推計方法であるため、推計結果の検証が必要である。
- ・ 調査地点ごとの増減傾向を確認し、バラツキが大きい場合には十分にその理由を検証し、推計に反映させる必要がある。また、各県において毎年実施している観光地ごとの統計（奈良県観光客動態調査、三重県観光レクリエーション入込客推計など）の動向とも比較し、推計の動向と大きく異なる場合にはその理由を検証しながら推計を行う必要がある。

#### < 玄関口調査に係る費用 >

- ・ 玄関口調査を民間の調査会社等に委託して行う場合は、下記の費用が概ねの目安となる。

道路交通量調査、駅乗降人員ともに、1日（12時間調査）・1地点当たりの概算費用は約25万円

項目	単価	数量	金額
調査員人件費	10,000 円/人日	3 人日	30,000 円
調査車両費	20,000 円/人日	1 台	20,000 円
調査員募集・研修費	3,000 円/人日	3 人	9,000 円
調査準備・結果整理人件費	25,100 円/人日	3 人日	75,300 円
諸経費	調査準備等人件費の1.2倍		90,360 円
技術経費	(調査準備等人件費 + 諸経費)の0.2倍		33,132 円
小計			257,792 円
端数調整			250,000 円

< 吉野大峯・熊野地域における『玄関口調査』の実施箇所案 >

- ・本地域においては、3県が連携して、下記の地点にて実施することが適当と考えられる。

【縁辺部の主要道路】

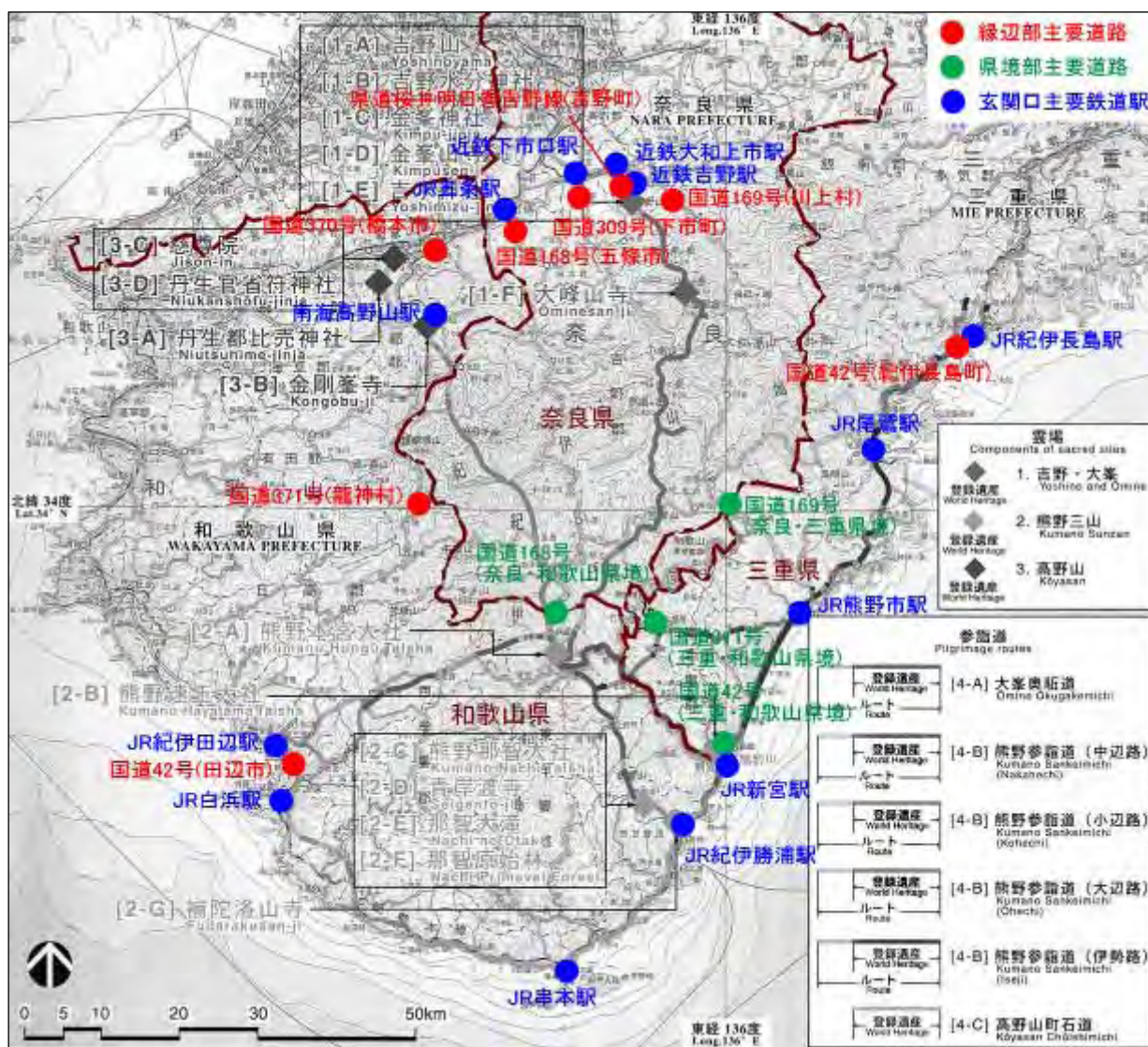
- 国道 168 号 (奈良県五條市) / 国道 309 号 (奈良県下市町) /
- 県道桜井明日香吉野線 (奈良県吉野町) / 国道 169 号 (奈良県川上村) /
- 国道 42 号 (三重県紀伊長島町) /
- 国道 370 号 (和歌山県橋本市) / 国道 371 号 (和歌山県龍神村) / 国道 42 号 (和歌山県田辺市)

【県境部の主要道路】

- 国道 169 号 (奈良・三重県境) / 国道 168 号 (奈良・和歌山県境) /
- 国道 311 号 (三重・和歌山県境) / 国道 42 号 (三重・和歌山県境)

【玄関口の鉄道駅】

- J R 和歌山線五条駅 (奈良県)
- 近鉄吉野線下市口駅 / 大和上市駅 / 吉野駅 (奈良県)
- J R 紀勢線紀伊長島駅 / 尾鷲駅 / 熊野市駅 (三重県)
- J R 紀勢線紀伊田辺駅 / 白浜駅 / 串本駅 / 紀伊勝浦駅 / 新宮駅 (和歌山県)
- 南海高野線高野山駅 (和歌山県)



平成 16 年度実態調査に基づく「玄関口係数」の算定

今回実施した実態調査における計測結果から「玄関口係数」を算定すると下記のとおりになる。

今後も継続的に玄関口調査を実施して「玄関口係数」の精度を向上させるとともに、季節ごとにも計測を実施し、係数設定を行うことが望まれる。

$$\text{玄関口係数} = \text{年間入込客数} / \text{休日 12 時間交通量} \cdot \text{乗降客数}$$

	年間入込客数 (a)	種別	休日 12 時間交通量・乗降者数 (b)	係数 (a/b)	
奈良県	1,616 千人/年	玄関口交通量 (二輪を除く)	国道 169 号大淀町道の駅	16,036 台	101
			県道 28 号吉野町三茶屋	2,715 台	595
			国道 370 号吉野町三茶屋	1,659 台	974
			県道 16 号東吉野村鷺家	1,647 台	981
			国道 168 号十津川村七色	1,372 台	1,178
			国道 169 号下北山村上池原	2,549 台	634
		鉄道乗降人員	J R 和歌山線五条駅	1,509 人	1,071
			近鉄吉野線下市口駅	1,497 人	1,080
			近鉄吉野線大和上市駅	603 人	2,682
			近鉄吉野線吉野駅	2,262 人	715
三重県	1,518 千人/年	玄関口交通量 (二輪を除く)	国道 42 号紀伊長島町道の駅	10,478 台	145
			国道 42 号海山町道の駅	11,786 台	129
		鉄道乗降人員	J R 紀勢線紀伊長島駅	339 人	4,478
			J R 紀勢線尾鷲駅	796 人	1,908
			J R 紀勢線熊野市駅	635 人	2,391

交通量・乗降者数は、2 日間計測地点については平均値としている。

交通量については二輪車を除く。